

データ通信端末 L-05A

ISSUE DATE:

'09.05

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

^{NTT}
docomo

目次／注意事項

ご使用前の確認

セットアップ

L-05A 接続ソフト

ドコモ コネクションマネージャ

通信の手動設定

海外利用

付録／困ったときには

ドコモ W-CDMA・GSM/GPRS方式

このたびは「データ通信端末L-05A」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよく読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。L-05Aは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中で電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご利用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本立っている場所で移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなどして送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なる内容となって受信される場合があります。
- FOMA端末の誤作動、不具合、あるいは停電時などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご利用になれません。
The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- このFOMA端末では、iモード機能（iモードメール、公式サイトとの接続、iアプリなど）には対応していません。

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を次の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう…………… P7
2. FOMA端末の各部の名称と機能を確認しましょう…… P16
3. FOMA端末をパソコンにセットしましょう…………… P22
4. お使いのパソコンにFOMA端末を認識させましょう… P22
5. FOMA端末で通信するための設定をしましょう………… P60

本書について、最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

■ 取扱説明書（PDFファイル）ダウンロード
<http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

記載内容について

L-05Aの取扱説明書は、『L-05A取扱説明書～接続ガイド～』と『L-05A取扱説明書』（付属のCD-ROMに収録）（本書）で構成されています。

■『L-05A取扱説明書～接続ガイド～』

パソコンへの接続方法、困ったときの対処方法、L-05Aの仕様など、次の内容を記載しています。

- 目次／注意事項
- ご使用前の確認
- セットアップ
- 付録／困ったときには

■『L-05A取扱説明書』（付属のCD-ROMに収録）（本書）

上記『L-05A取扱説明書～接続ガイド～』の内容に加えて、専用アプリケーションによる通信設定方法など、次の内容を記載しています。

本書はPDFでの提供となります。ご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。

- L-05A 接続ソフト
- ドコモ コネクションマネージャ
- 通信の手動設定
- 海外利用

本書の引き方について

本書では、知りたい機能やサービスがすぐに探せるように、次の検索方法を用意しています。

索引から

→ P129

探したい機能名やサービス名がわかっているときは、ここから探します。

表紙インデックスから

→ 表紙

表紙のインデックスを利用して、機能やサービスを探します。

次ページで
詳しく説明
しています。

目次から

→ P5

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から

→ P6

主な機能を利用したい場合はここから探します。

- この「L-05A取扱説明書」の本文中において、「L-05A」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- お使いの環境によっては、操作手順や画面が一部異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

Windows版のL-05A 接続ソフト（ドライバ含む）のインストールを例に記載ページを探す方法を説明します。

索引から

▶ P129

次の例のように、機能名やサービス名などを探します。

インストール	
ドコモ コネクションマネージャ (Macintoshの場合)	75
ドコモ コネクションマネージャ (Windowsの場合)	71
L-05A 接続ソフト (ドライバ含む) (Macintoshの場合)	37
L-05A 接続ソフト (ドライバ含む) (Windowsの場合)	31
インターネットオプション	81
エラーメッセージ	121
カ	
海外利用	
海外通信事業者を検索	105
海外で利用する前の確認	103

表紙インデックスから

▶ 表紙

次の例のように、表紙インデックス→章の最初のページ→目的のページの順に探します。

目次／注意事項	
ご使用前の確認	
セットアップ	
L-05A 接続ソフト	
ドコモ コネクションマネージャ	
通信の手動設定	

セットアップ	
セットアップについて	28
Windows版	31
Macintosh版	37

P31
Windows版の
L-05A 接続ソフト
(ドライバ含む) の
インストールの説
明ページへ

次のページへ

タイトルを記載
しています。

Windows版

L-O5A 接続ソフトのインストールは、利用するパソコンに初めて FOMA端末を接続するときのみ行います。

お知らせ

- ・ インストールを行う時は、OSが起動してからUSBポートにFOMA 端末を取り付けください。
- ・ 自動インストール（自動）中は、付属のCD-ROMを、CDドライブ から取り出してください。
- ・ インストール中は、FOMA端末を取り外さないでください。
- ・ ご利用のパソコンによっては、インストールには多少時間がかかる場合があります。
- ・ データ通信中にインストールおよびアンインストールを行わないでください。
- ・ インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、Windows 上に常驻しているプログラムも終了させてください。
- ・ インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザー アカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- ・ パソコン管理者権限の認証操作については各パソコンメーカー、マイ クロソフト社にお問い合わせください。

知っておくと便利
な事項、および操作
へのアドバイスな
どの内容を記載し
ています。

L-O5Aを使用するための準備を行う

ゼロインストール（自動）でセットアップを行う

■ Windows Vistaの場合

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 FOMA端末をパソコンに接続する

ゼロインストール機能により、L-O5A 接続ソフトのセットアップ画面が自動で表示されます。

設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「ソフトウェアセンター」に対しては常に次の操作を行う」をチェックし、「Launcher.exeの実行」を選択してください。



※ L-O5A 接続ソフトのセットアップ画面が自動で表示されない場合は、付属のCD-ROMからインストールします。（※P33）

操作手順を記載し
ています。

各手順を操作する
際のポイントとな
る画面を記載して
います。お使いのパソコン画面と照らし
合わせてご覧ください。
数値や設定、任意に
入力する文字など
はすべて一例です。

インデックス；
章ごとに検索でき
ます。

セットアップ 31

- ※：上記のページはサンプルです。本文中のページとは異なります。
※：本書の掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。

目次

本書の見かた／引きかた	1
目次	5
L-05Aの主な機能	6
安全上のご注意（必ずお守りください）	7
取り扱い上の注意	12
本体付属品	14

ご使用前の確認 15	各部の名称と機能 FOMAカードを使う FOMA端末から利用できる通信 FOMA端末のパソコンへの取り付け方法
セットアップ 27	セットアップについて Windows版 Macintosh版
L-05A 接続ソフト 43	L-05A 接続ソフトについて パケット通信を利用する SMSを利用する 電話帳を利用する 環境設定
ドコモ コネクション マネージャ 69	ドコモ コネクションマネージャ Windows版 Macintosh版

通信の手動 設定 79	ダイヤルアップネットワークを手動で設定する 通信を行う（ダイヤルアップ接続する）
---------------------------	---

海外利用 101	国際ローミング（WORLD WING）の概要 海外で利用できるサービス 海外でご利用になる前の確認 通信事業者の検索方法を設定する ネットワークを設定する
--------------------	---

付録／困った ときには 109	ATコマンドについて ATコマンド一覧 故障かな？と思ったら、まずチェック こんな表示が出たら 保証とアフターサービス ソフトウェア更新について 主な仕様 輸出管理規制 知的財産権 索引
-------------------------------	--

L-05Aの主な機能

FOMA (Freedom Of Mobile multimedia Access) とは、第3世代移動通信システム (IMT-2000) の世界標準規格の1つとして設定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

■ FOMAハイスピードエリアに対応

受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbps (ベストエフォート方式) の高速パケット通信を楽しむことができます。

- 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
 - 送信時最大5.7Mbpsの対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。
 - FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
 - FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
 - ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などを用意しております。詳しくはmopera Uホームページをご覧ください。
<http://www.mopera.net/>
- ※ パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。

■ 国際ローミングサービス対応

海外でもW-CDMA (3G) ネットワークやGSM/GPRSネットワークを利用して、パソコンからデータ通信やSMS送受信ができます。▶P102

- ※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- ※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- ※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

■ FOMAカードを差し替えて利用可能




FOMAカードを差し替えることにより、お客様の用途に合わせて、複数のFOMA端末を使い分けることができます。▶P17

■ SMS機能





L-05A 接続ソフトを利用して、メッセージを送受信することができます。▶P48

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。

- 「安全上のご注意」は下記の4項目に分けて説明しています。

FOMA端末、FOMAカードの取り扱いについて（共通）	8
FOMA端末の取り扱いについて	9
FOMAカードの取り扱いについて	10
医用電気機器近くでの取り扱いについて	11

FOMA端末、FOMAカードの取り扱いについて (共通)

危険



禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。



水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

警告



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、FOMA 端末やFOMAカードを入れないでください。

FOMA 端末の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。



禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

機器の故障、火災の原因となります。



禁止

外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA 端末を接続しているパソコンの電源をお切りください。

ガスに引火する恐れがあります。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末の取り扱いについて

警告



禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。



禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。



指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA 端末を接続しているパソコンの電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA 端末を USB ポートから抜いてください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



注意



指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属（クロムメッキ）を使用しています。

使用箇所：USB コネクタ

FOMAカードの取り扱いについて



指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

- 本記事の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告



指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、パソコンの電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。



指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意

共通のお願い

- 水をかけないでください。
FOMA 端末、FOMA カードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA 端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基板などの破損、故障の原因となります。

- FOMA 端末に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA 端末についてお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 移動するときは、FOMA 端末をパソコンから取り外してください。
故障、破損の原因となります。
- 使用中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 専用ケースから FOMA 端末を取り出す場合は、FOMA 端末を落とさないようにしてください。
- ご使用にならないときは、端子が汚れないように専用ケースに入れて保管してください。
端子が汚れていると接触状態が悪くなる場合があります。
- 専用ケースに入れて保管する際は、水濡れや高温の場所での保管や、無理な力が加わらないようご注意ください。
変形、変色、色移りの原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様で自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

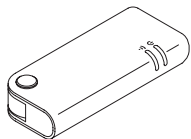
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けしないでください。

注意

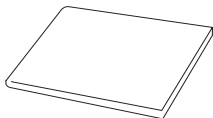
- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

本体付属品

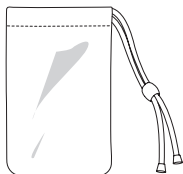
■ L-05A本体（リアカバーL13、保証書含む）



■ L-05A取扱説明書～接続ガイド～



■ 専用ケース（試供品）



■ L-05A CD-ROM

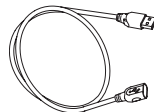
- L-05A 接続ソフト（Windows用／Macintosh用）
- ドコモ コネクションマネージャ（Windows用／Macintosh用）
- L-05A取扱説明書（PDF形式）



※ ソフトウェアの仕様は予告なく変更される場合があります。

■ USB延長ケーブル（試供品）

本書で「USB延長ケーブル」と記載している操作を行う際にご利用いただけます。



■ 固定用フォルダ（試供品）

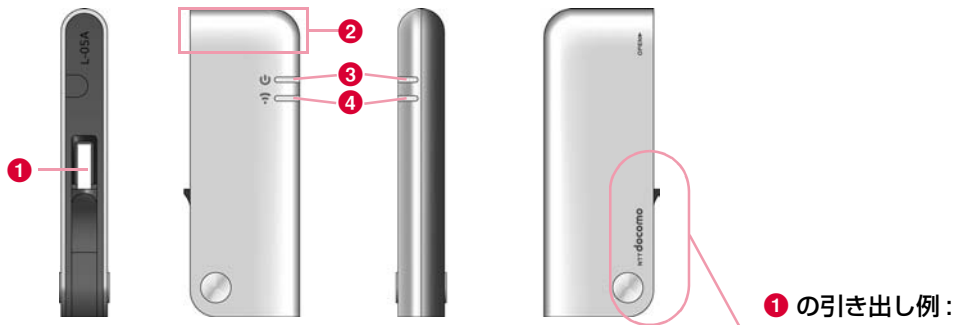
本書で「固定用フォルダ」と記載している操作を行う際にご利用いただけます。



ご使用前の確認

各部の名称と機能	16
FOMAカードを使う	17
FOMA端末から利用できる通信	21
FOMA端末のパソコンへの取り付け方法	22

各部の名称と機能



1 USBコネクタ→P22

パソコンとの接続端子

2 アンテナ部

アンテナは、本体に内蔵されています。

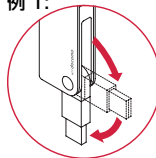
3 電源ランプ→P17

FOMA端末の電源供給状態を表示

4 通信待ち受け/通信中表示ランプ→P17

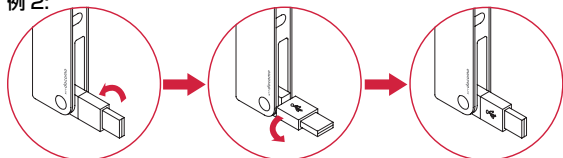
FOMA端末の状態などを表示

例 1:



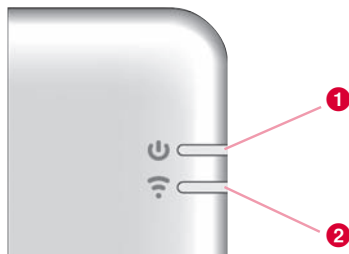
※ FOMA端末本体から最大180度(90度+90度)引き出して使用します。ただし、180度以上、無理に引き出そうとすると、破損の恐れがあります。

例 2:



※ USBコネクタの先端部分を最大180度(90度+90度)回転させることができます。ただし、回転できるのは一方方向だけです。反対方向や180度以上、無理に回転させようとすると、破損の恐れがあります。

ランプ表示について



※ 動作細部の表示

FOMA端末の状態		①電源ランプ	②通信待ち受け/通信中表示ランプ
電源ON		-	-
待ち受け中		緑色	緑色
パケット通信	接続開始時	緑色	青色 (点滅)
	接続中	緑色	青色
SMS	受信中	黄色 (点滅)	緑色
	開封	緑色	緑色
	送信	緑色	緑色
PIN	PINロック	緑色	-
	PIN 1 コード入力待ち	緑色	-

FOMAカードを使う

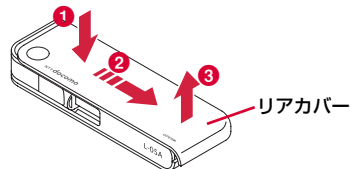
FOMAカードは電話番号などお客様の情報が記録されているICカードのことで、FOMA端末に取り付けないと、データ通信などを利用できません。FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

取り付けかた／取り外しかた

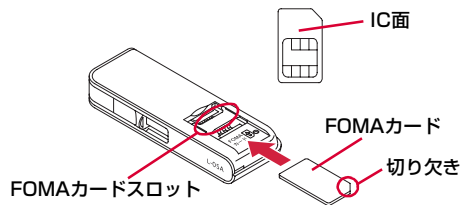
取り付けかた

FOMAカードを取り付けるときは、両手で持って行ってください。

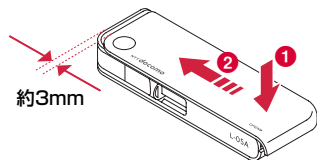
- 1 リアカバーを①の方向へ押し付けながら②の方向へスライドさせ、③の方向に持ち上げて取り外す



- 2** FOMAカードのIC面を下にして、矢印の方向でFOMAカードスロットの下に差し込む



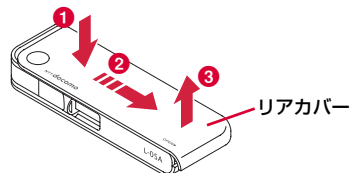
- 3** リアカバーをFOMA端末の端から約3mmずらした状態でFOMA端末の溝に合わせ、**1**の方向に押し付けながら**2**の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む



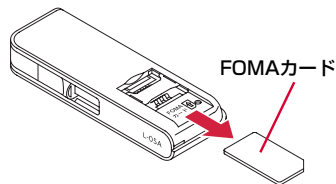
取り外しかた

FOMAカードを取り外すときは、両手で持って行ってください。

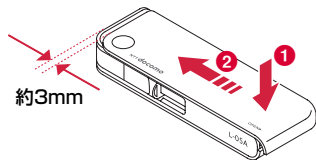
- 1** リアカバーを**1**の方向へ押し付けながら**2**の方向へスライドさせ、**3**の方向に持ち上げて取り外す



- 2** FOMAカードを矢印の方向にスライドさせて取り外す

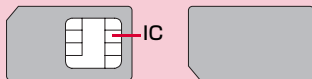


- 3** リアカバーをFOMA端末の端から約3mmずらした状態でFOMA端末の溝に合わせ、**①**の方向に押し付けながら**②**の方向へスライドさせ、カチッと音がするまで押し込む



お知らせ

- 取り外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- 必ずFOMAカードの各面を確認してください。



- FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。
- FOMAカードを逆向きに挿入すると、製品の故障になる場合があります。
- FOMAカードを無理に取り付けようとしていたり、取り外そうとすると、FOMAカードが破損する場合があります。
- パソコンにFOMA端末が接続されている状態で、FOMAカードの取り付けまたは取り外しをしないでください。故障の原因となります。

暗証番号

FOMAカードにはPIN1コードという暗証番号があり、ご契約時は[0000]に設定されています。PIN1コードは第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れる時、ユーザーを認識するための4～8桁の暗証番号です。

お客様のFOMAカードがPIN1コードを確認する設定になっている場合は、そのままデータ通信をすることができません。PIN1コードを確認してから利用するか、あらかじめFOMAカードの設定をPIN1コードを確認しない設定（P63）にしてから使用してください。

■ PIN1コードの変更

お客様のお好みで、番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。なお、PIN1コード入力を3回連続して失敗すると自動的にロック（PINロック）されますので、設定した番号はメモを控えるなどして、お忘れにならないようご注意ください。

- 「PIN1コード入力設定/ PIN1コード変更」→P64

■ PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

L-05A 接続ソフトを起動すると
PIN1コード確認を表示



PIN1コードを入力
3回連続入力失敗



PINロック解除コードを入力

OK

10回連続入力失敗



新しいPIN1コードを
設定可能



ドコモショップ窓口
お問い合わせください。

FOMAカードの種類

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色／白色）」とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

機 能	FOMAカード （青色）	FOMAカード （緑色／白色）
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁 本端末では最大20桁 まで入力できます
WORLD WING	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きを取ってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

FOMA端末から利用できる通信

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用して、受信最大7.2Mbps/送信最大5.7Mbps（ベストエフォート方式）速度でデータ通信を行うことができます。

※ 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

- 定額データプラン契約のお客様は、接続先限定を設定していると、従量接続先設定を作っても接続できません。事前に接続先限定の解除を申し出ていただく必要があります。
- FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。
- アクセスポイントや電波状況によって通信速度は異なります。
- 海外でご利用の場合は、利用する海外事業者やネットワークにより通信速度が異なります。
- 付属のCD-ROMに収録されている「ドコモ コネクションマネージャ」を利用して、パケット通信による受信および送信バイト数や利用金額の目安を確認することができます。

お知らせ

- 画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額な通信料がかかりますのでご注意ください。
- ご契約のプランに関わらず、海外からのデータ通信は一律従量課金となります。
- 64Kデータ通信には対応しておりません。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末は、FAX通信には対応していません。

利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、利用するインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMA サービス利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただけます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などが利用できます。

「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご確認ください。

<http://www.mopera.net/mopera/index.html>

■ ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容についてはそちらにお問い合わせください。

■ パケット通信条件

FOMA 端末で通信を行うには、次の条件が必要になります。ただし、条件が整っていても基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信できないことがあります。

- FOMAのネットワークまたはドコモのローミングサービスエリア内であること
- アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること

FOMA端末のパソコンへの取り付け方法

初めてFOMA端末をパソコンに接続する時は、あらかじめL-05A 接続ソフト（ドライバ含む）をインストールする必要があります。L-05A 接続ソフトのインストールについては、下記を参照してください。

- Windowsの場合：「L-05Aを使用するための準備を行う」（P31）
- Macintoshの場合：「L-05Aを使用するための準備を行う」（P37）

取り付けかた

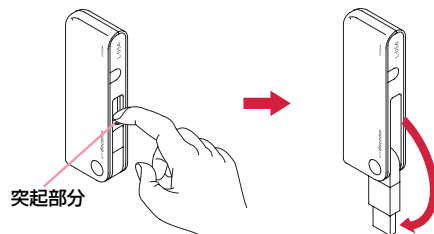
1 パソコンの電源を入れる

2 FOMA端末をパソコンに接続する

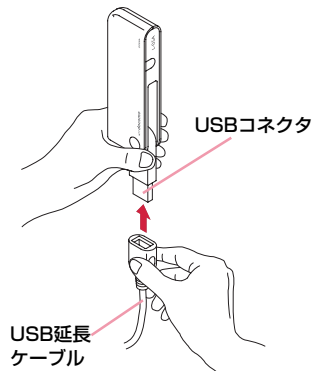
■ 固定用フォルダとUSB延長ケーブルを使用する場合

- 固定用フォルダとUSB延長ケーブルを利用してパソコンの上部に取り付けて使用します。

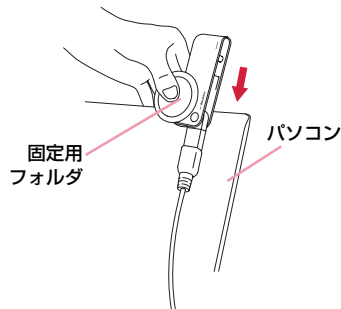
① USBコネクタの突起部分に指先をかけて180度引き出す



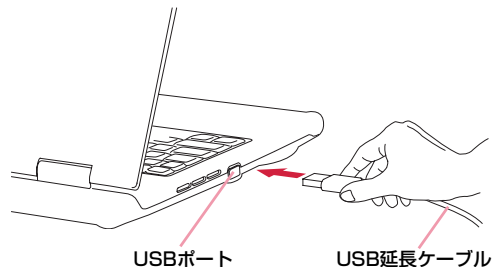
- ② USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、FOMA端末側のUSBコネクタに、矢印の方向に差し込む
※ USBコネクタの奥まで、しっかりと差し込んでください。



- ③ 固定用フォルダでFOMA 端末をはさみ、パソコンの上部に取り付ける



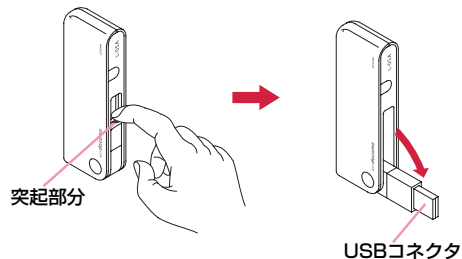
- ④ USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、パソコンのUSBポートに、矢印の方向に差し込む



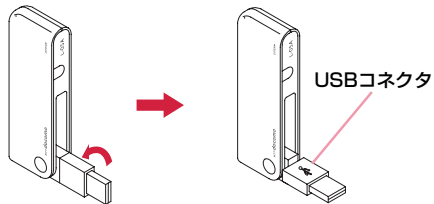
■ パソコンに直接接続する場合

- FOMA端末をパソコンのUSBポートに差し込んで、直接取り付けて使用します。
- USBポートの向きに応じて、FOMA端末のUSBコネクタの先端部分を90度回転させることができます。

- ① USBコネクタの突起部分に指先をかけて90度引き出す

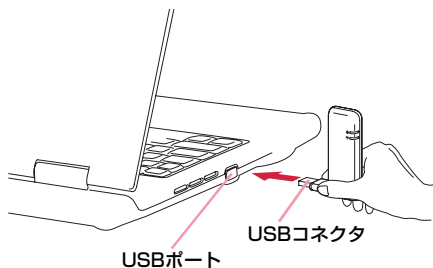


- ② USBコネクタの先端部分を、USBコネクタの印字面が上になるように90度回転させる

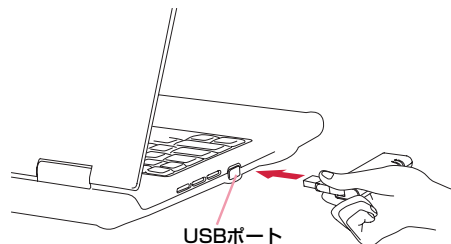


※ さらに90度（最大180度まで）回転させることもできます。ただし、180度以上無理に回転させようとすると、破損の恐れがあります。

- ③ FOMA 端末の USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込む



- 前述の手順②でUSBコネクタを90度回転させずに、そのままパソコンのUSBポートに差し込んで使用することもできます。



※ USBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込んだ後にFOMA端末を回転させることはおやめください。不注意によってFOMA端末に衝撃や力を加えると、破損または故障の原因となることがあります。

3 通信接続を開始する

- 「L-05A 接続ソフト」を使用する場合→P43
- 「ドコモ コネクションマネージャ」を使用する場合→P69
- 手動設定（OS標準）を使用する場合→P79

お知らせ



電源ランプ

通信待ち受け／通信中表示ランプ

- 通信接続の開始時には、電源ランプおよび通信待ち受け／通信中表示ランプが緑色になっていることを確認してください。

取り外しかた

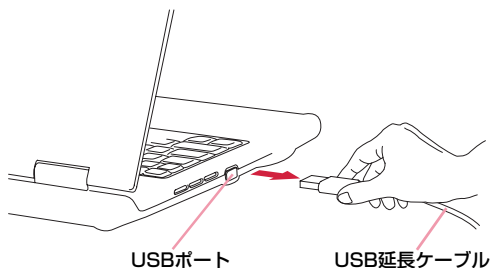
1 通信接続を終了する

- L-05A 接続ソフト/ドコモ コネクションマネージャが起動している場合には、終了してください。データ通信をしている場合には、切断されていることを確認してください。

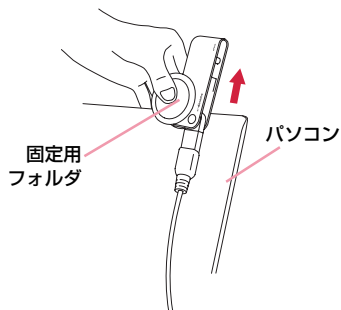
2 FOMA端末を取り外す

- 固定用フォルダとUSB延長ケーブルを使用している場合

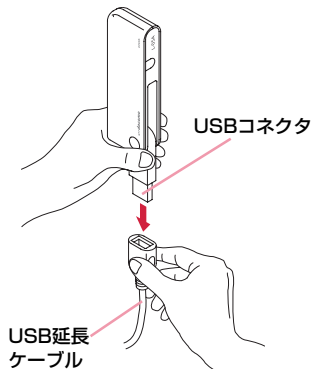
- ① USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、パソコンのUSBポートから、矢印の方向に引き抜く



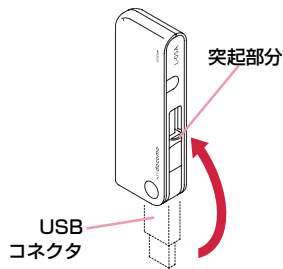
- ② FOMA端末を固定用フォルダと一緒にパソコンの上部から取り外し、FOMA端末から固定用フォルダを取り外す



- ③ USB延長ケーブルのコネクタ部分を持って、FOMA端末側のUSBコネクタから、矢印の方向に引き抜く



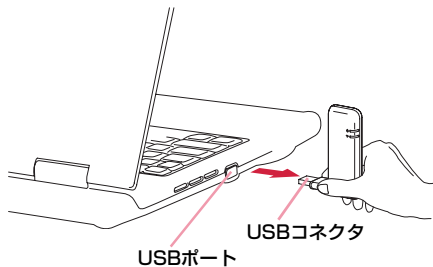
④ USBコネクタをFOMA端末に収納する



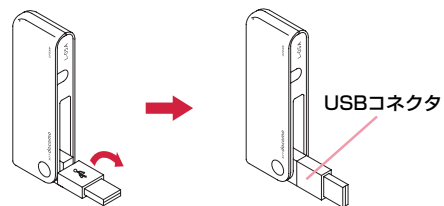
※ 突起部分が手前に見えるように収納してください。

■ パソコンに直接接続している場合

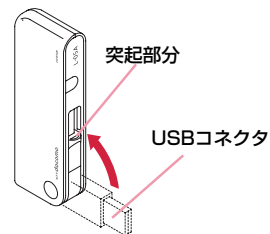
- ① FOMA端末のUSBコネクタ部分を持って、FOMA端末をパソコンのUSBポートからまっすぐに引き抜く



② USBコネクタの先端部分を図のように90度回転させる



③ USBコネクタをFOMA端末に収納する



※ 突起部分が手前に見えるように収納してください。

ご注意

- 無理に取り外そうとしたりUSBコネクタを引っ張ると、故障の原因となります。
- データ通信中にFOMA端末をUSBコネクタから取り外すと、データ通信が切断され、誤作動やデータ損失の原因となります。

セットアップ

セットアップについて	28
Windows版	31
Macintosh版	37

セットアップについて

■ L-05Aを使ってデータ通信を行うには

まず、FOMA端末をパソコンに認識させるための「通信設定ファイル（ドライバ）」と、「L-05A 接続ソフト」をインストールする必要があります。「通信設定ファイル（ドライバ）」と、「L-05A 接続ソフト」は一緒にインストールされます。

L-05A 接続ソフトだけでもデータ通信を行うことができますが、必要に応じてドコモ コネクションマネージャを追加でインストールして利用することもできます。

また、L-05A 接続ソフトをインストール後、手で通信設定をすることで、データ通信を行うこともできます。

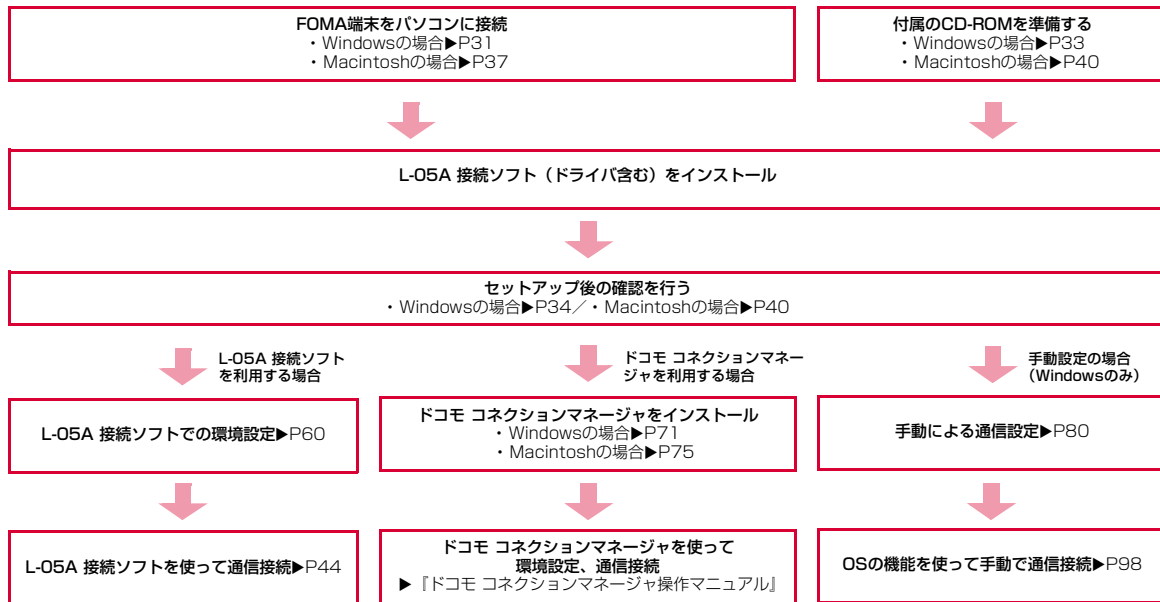
■ L-05A 接続ソフトのインストールについて

L-05Aは、「ゼロインストール機能」を搭載しているため、初めてFOMA端末をパソコンに接続した際、「L-05A 接続ソフト」のインストール画面が自動で起動します。この「ゼロインストール機能」は、Windows OSを搭載したパソコンに対応しています。「ゼロインストール機能」が正常に動作しなかった場合でも、付属のCD-ROMを使って「L-05A 接続ソフト」をインストールすることができます。

なお、Macintoshの場合、「ゼロインストール機能」には対応していませんが、FOMA端末をパソコンに接続するとCD-ROMのアイコンが画面に表示されますので、そこからインストール作業を進めることができます。

利用形態に応じたセットアップの流れを、次のページで説明しています。

セットアップの流れ



動作環境を確認する

本FOMA端末を利用するための動作環境は以下のとおりです。

項目	必要環境
パソコン本体	<ul style="list-style-type: none">• PC/AT互換機、および、Macで、CD-ROMドライブが使用できるコンピュータ• USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠）• USBハブ（モニタやキーボードなどにあるUSBポートを含む）を経由しての動作は保証いたしかねます。• ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color (65.536) 以上を推奨
OS ^{*1}	Windows 2000 SP4以降（日本語版） Windows XP SP2以降（日本語版） Windows Vista SP1以降（日本語版） Mac OS X 10.4.11（日本語版） ^{*3} Mac OS X 10.5.6（日本語版） ^{*3}
必要メモリ ^{*2}	Windows 2000：64Mバイト以上 Windows XP：128Mバイト以上 Windows Vista：512Mバイト以上 Mac OS X 10.4.11：512Mバイト以上 Mac OS X 10.5.6：512Mバイト以上
ハードディスク容量 ^{*2}	50Mバイト以上の空き容量

※1 OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。

※2 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

※3 Intel社製CPUを搭載したMacのみに対応しています。

動作環境の最新情報については、ドコモのホームページにてご確認ください。

お知らせ

- 動作環境によっては、ご使用になれない場合があります。また左記動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Windows版

L-05A 接続ソフトのインストールは、利用するパソコンに初めてFOMA端末を接続するときのみ行います。

お知らせ

- インストールを行う時は、OSが起動してからUSBポートにFOMA端末を取り付けてください。
- ゼロインストール（自動）中は、付属のCD-ROMを、CDドライブから取り出してください。
- インストール中は、FOMA端末を取り外さないでください。
- ご使用のパソコンによっては、インストールには多少時間がかかる場合があります。
- データ通信中にインストールおよびアンインストールを行わないでください。
- インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了させてください。
- インストールを行う場合、必ずパソコン管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールすると、エラーになります。
- パソコン管理者権限の設定操作については各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

L-05Aを使用するための準備を行う

ゼロインストール（自動）でセットアップを行う

■ Windows Vistaの場合

1 パソコンの電源を入れ、OSを起動する

2 FOMA端末をパソコンに接続する

ゼロインストール機能により、L-05A 接続ソフトのセットアップ画面が自動で表示されます。

設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「ソフトウェアとゲームに対しては常に次の動作を行う」をチェックし、「Launcher.exeの実行」を選択してください。



※ L-05A 接続ソフトのセットアップ画面が自動で表示されない場合は、付属のCD-ROMからインストールします。(→P33)

3 「ユーザーアカウント制御」画面で[許可]をクリックする

■ Windows XP/2000の場合

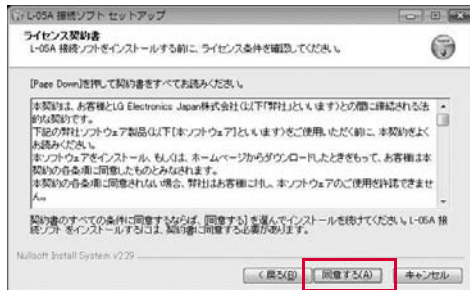
- 「ユーザーアカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

4 [次へ]をクリックする



5 [同意する]をクリックする

インストールがはじまります。



6 [完了]をクリックする



続いて、L-05A 通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが行われます。

7 FOMA端末がパソコンに認識されることを確認する

右下側のタスクトレイに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」とメッセージが表示され、FOMA端末を自動で認識します。



FOMA端末が正常に認識されると、「デバイスを使用する準備ができました」とメッセージが表示されます。



■ Windows XPの場合

- 右下側のタスクトレイに「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが表示され、FOMA端末を自動で認識します。



- FOMA端末が正常に認識されると、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」とメッセージが表示されます。



■ Windows 2000の場合

- デバイスの取り外し警告の画面が表示されますが、問題なく使用できます。
- 「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが表示され、FOMA端末を自動で認識します。



手動 (CD) でセットアップを行う

■ Windows Vistaの場合

- 1 パソコンを起動後▶付属のCD-ROMをパソコンにセットする
- 2 [スタート]▶[すべてのプログラム]▶[アクセサリ]▶[ファイル名を指定して実行]をクリックする

■ Windows XP/2000の場合

[スタート] ▶ [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

- 3 「名前」に「<CD-ROMドライブ名>:¥Windows¥L-05A 接続ソフト¥StartCD.exe」を入力▶[OK]をクリックする

設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「ソフトウェアとゲームに対しては常に次の動作を行う」をチェックし、「Launcher.exeの実行」を選択してください。

- 4 以降は、「ゼロインストール(自動)でセットアップを行う」の手順3以降と同様に操作する(→P32)

※ なお、手順6で「完了」をクリックした後に、FOMA端末をパソコンに接続してください。

セットアップ後の確認を行う

L-05A 接続ソフトを確認する

1 L-05A 接続ソフトのアイコンをダブルクリックする


下の画面が表示されたら、インストール後の確認は完了です。



インストールしたL-05A 通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

L-05A 通信設定ファイル（ドライバ）がパソコンに設定されているかを確認します。

■ Windows Vistaの場合

1  (スタート) ▶ 「コントロールパネル」 ▶ 「システムとメンテナンス」 ▶ 「デバイスマネージャ」 ▶ 「続行」をクリックする

■ Windows XPの場合

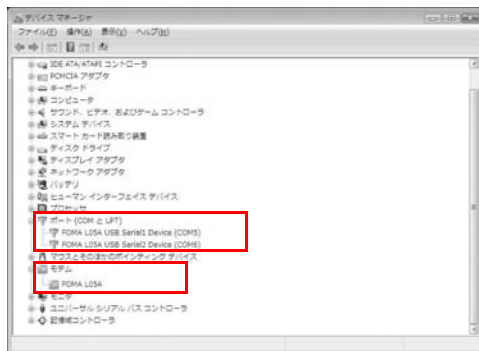
[スタート] ▶ 「コントロールパネル」 ▶ 「パフォーマンスとメンテナンス」 ▶ 「システム」 ▶ 「ハードウェア」 タブの [デバイス マネージャ] をクリックします。

■ Windows 2000の場合

[スタート] ▶ 「設定」 ▶ 「コントロールパネル」 ▶ 「システム」 ▶ 「ハードウェア」 タブの [デバイス マネージャ] をクリックします。

2 各デバイス表示をクリックし、インストールされたドライバ名を確認する

- 「ポート (COMとLPT)」「モデム」の下にドライバ名が表示されているか確認してください。



- COMポート番号はユーザーやパソコンによって異なる場合があります。

デバイス名	ドライバ名
ポート (COMとLPT)	FOMA L05A USB Serial1 Device FOMA L05A USB Serial2 Device
モデム	FOMA L05A

お知らせ

- FOMA 端末をパソコンのUSBポートに取り付けた後、FOMA 端末が認識できない場合は、他のUSBポートに取り付けてご確認ください。パソコンによっては特定のUSBポートではFOMA端末が認識できない場合もあります。
- L-05A 接続ソフトを使ってデータ通信を行う場合、L-05A 接続ソフトでの環境設定を行ってください。→P60
- L-05A 接続ソフトを使わず、ドコモ コネクションマネージャを使ってデータ通信を行う場合は、別途ドコモ コネクションマネージャをインストールしてください。→P71
- L-05A 接続ソフトおよびドコモ コネクションマネージャのどちらも使わずにデータ通信を行う場合は、手動で設定してください。→P80

L-05A 接続ソフト（ドライバ含む）をアンインストールする

- アンインストールする前にFOMA端末をパソコンから取り外してください。
- アンインストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。
- アンインストールすると、パソコンに保存されている電話帳、SMSは削除されますので、重要なデータはFOMAカードに保存してください。

■ Windows Vistaの場合

1 (スタート)▶「すべてのプログラム」▶「L-05A 接続ソフト」▶「Uninstall」をクリックする

■ Windows XPの場合

- [スタート]▶「すべてのプログラム」▶「L-05A 接続ソフト」▶「Uninstall」をクリックする

■ Windows 2000の場合

- [スタート]▶「プログラム」▶「L-05A 接続ソフト」▶「Uninstall」をクリックする



2 「ユーザーアカウント制御」画面で[許可]をクリックする

[キャンセル]をクリックすると、アンインストールが中止されます。

■ Windows XP/2000の場合

- 「ユーザーアカウント制御」画面は表示されませんので、次の手順に進んでください。

3 「アンインストール」をクリックする



4 [完了]をクリックする



アンインストールが終了します。

Macintosh版

L-05A 接続ソフトのインストールは、利用するMacに初めてFOMA端末を接続するときのみ行います。

お知らせ

- インストールを行う時は、OSを起動してからUSBポートにFOMA端末を取り付けてください。
- FOMA端末からインストール実行中は、付属のCD-ROMを、CDドライブから取り出してください。
- インストール中は、FOMA端末を取り外さないでください。
- インストールを始める前に、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。ウイルスチェックソフトを含む、Mac OS上に常駐しているプログラムも終了させてください。
- インストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。

L-05Aを使用するための準備を行う

FOMA端末でセットアップを行う

- 1 Macの電源を入れ、OSを起動する
- 2 FOMA端末をMacに接続する
デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
- 3 CD-ROMのアイコンをダブルクリックする

4 「L-05A 接続ソフト インストーラー.mpkg」をダブルクリックする



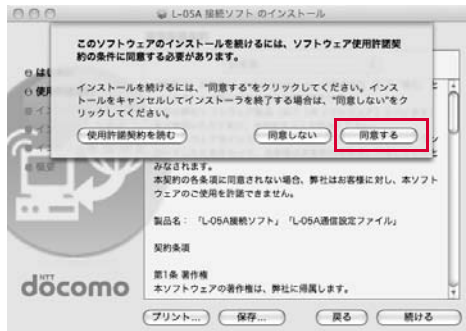
5 「続ける」をクリックする



6 「続ける」をクリックする



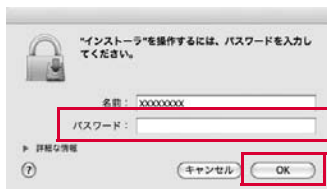
7 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、「同意する」をクリックする



8 [インストール]をクリックする



9 管理者パスワードを入力▶[OK]をクリックする



10 [インストールを続ける]をクリックする



11 [再起動]をクリックする

Macが再起動します。これでインストールは完了です。



CD-ROMでセットアップを行う

- 1 Macを起動後▶付属のCD-ROMをMacにセットする
デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
- 2 CD-ROMのアイコン▶「Mac」▶「L-05A 接続ソフト」を順にダブルクリックする
- 3 以降は、「FOMA端末でセットアップを行う」の手順4以降と同様に操作する(→P38)
※ なお、手順11でMacが再起動した後に、FOMA端末をパソコンに接続してください。

セットアップ後の確認を行う

L-05A 接続ソフトを確認する

- 1 Finderを起動 ▶「アプリケーション」▶「L-05A 接続ソフト.app」

下の画面が表示されたら、インストール後の確認は完了です。



お知らせ

- L-05A 接続ソフトを使ってデータ通信を行う場合、L-05A 接続ソフトでの環境設定を行ってください。→P60
- L-05A 接続ソフトを使わず、ドコモ コネクションマネージャを使ってデータ通信を行う場合は、別途ドコモ コネクションマネージャをインストールしてください。→P75

L-05A 接続ソフト（ドライバ含む）をアンインストールする

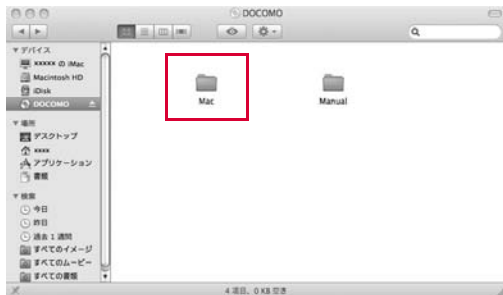
- アンインストールする前にFOMA端末をMacから取り外してください。
- アンインストールを行う場合、必ず管理者権限を持つユーザーアカウントで行ってください。
- アンインストールすると、パソコンに保存されている電話帳、SMSは削除されますので、重要なデータはFOMAカードに保存してください。

1 付属のCD-ROMをMacにセットする

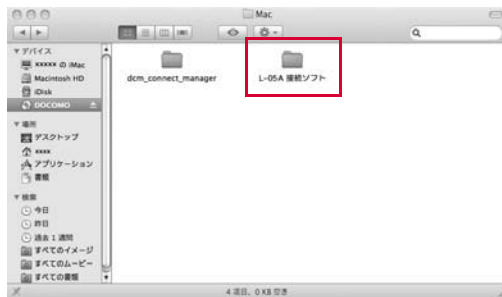
デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。

2 CD-ROMのアイコンをダブルクリックする

3 「Mac」をダブルクリックする



4 「L-05A 接続ソフト」をダブルクリックする



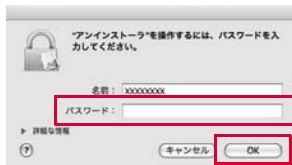
5 「アンインストーラ.app」をダブルクリックする



6 [アンインストール]をクリックする

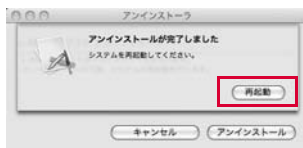


7 管理者パスワードを入力▶[OK]をクリックする



8 再起動する前に、FOMA端末がUSBポートに接続されていないことを確認する

9 [再起動]をクリックする



Macが再起動します。これでアンインストールは完了です。

L-05A 接続ソフト

L-05A 接続ソフトについて	44
パケット通信を利用する	47
SMSを利用する	48
電話帳を利用する	57
環境設定	60

L-05A 接続ソフトは、Windows、Macintoshのどちらでも利用できます。Windows版とMacintosh版とでは画面の表示イメージが若干異なりますが、画面上のアイコンや利用できる機能は同じです。本章では、Windows版の画面イメージを例に掲載してあります。あらかじめご了承ください。

L-05A 接続ソフトについて

L-05A 接続ソフトを利用すると、パソコンでのバケット通信/SMS/電話帳がご利用いただけます。

• バケット通信を利用する→P47

バケット通信を手軽に利用できます。

• SMSを利用する→P48

メッセージの作成、受信トレイ、送信済みトレイ、下書きトレイ、FOMAカードにメッセージ保存のように多様な機能が利用できます。

• 電話帳を利用する→P57

メッセージの作成、グループの新規登録および削除、グループ移動、新項目の追加、選択された使用者の修正、削除機能があります。

• 環境設定→P60

バケット使用量を確認する、インターネットオプションを設定する、FOMAカードを設定する、PIN1コードを入力する、接続方式（PDP Type）を設定する、FOMA端末をリセットする、ネットワークを設定するなどをご利用いただけます。

お知らせ


- L-05A 接続ソフトのデータは、特に指定が無い場合はパソコンに保存されます。

L-05A 接続ソフトを起動する / 終了する (Windowsの場合)

起動する

- デスクトップにある  をダブルクリックします。

終了する

- メイン画面の上端にある  をクリックします。

L-05A 接続ソフトを起動する / 終了する (Macintoshの場合)

L-05AをMacに接続すると、まずCD-ROMとして認識され、デスクトップ上にCD-ROMアイコンが表示されます。モデムとして認識させるために、CD-ROMアイコンをゴミ箱にドラッグしてください。

起動する

- Finderを起動 ▶ 「アプリケーション」 ▶ 「L-05A 接続ソフト.app」

終了する





- メニューバー ▶ 「L-05A 接続ソフト」 ▶ 「L-05A 接続ソフトを終了」

メイン画面の見かた



1 FOMA端末状態画面のアイコン一覧

	電波受信レベル  強 ← → 弱
	ネットワークの種類  W-CDMA*1,  HSDPA*2,  HSUPA*2,  GSM*3/GPRS*4

	(圏外) サービスエリア外/電波が届かない所
	インターネット接続
	国際ローミング時
	未開封SMSあり

※1 [W-CDMA (3G)]

世界標準規格である3GPPに準拠した第3世代移動通信ネットワークです。3GPPとは、3rd Generation Partnership Projectの略です。第3世代移動通信システム (IMT-2000) に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2 [HSDPA] (High Speed Downlink Packet Accessの略)

[HSUPA] (High Speed Uplink Packet Accessの略) W-CDMAのデータ通信を高速化した規格です。第3世代 (3G) 携帯電話方式「W-CDMA」の改良版であることから、「3.5G」とも呼ばれます。

※3 [GSM] (Global System for Mobile Communicationsの略)

世界的にもっとも普及しているデジタル方式の第2世代移動通信ネットワークです。

※4 [GPRS] (General Packet Radio Serviceの略)

GSM通信方式を利用して高速パケット通信が可能な第2.5世代移動通信ネットワークです。

② 状態／メッセージ表示エリア

- 現在のFOMA端末の状態、警告メッセージ、進行状況、ネットワークの名前などが表示されます。
- 「ネットワーク情報」設定が「表示する」に設定されている場合は、現在接続している事業者の情報が表示されます。→P106

③ インターネット接続および終了ボタン

- インターネットの接続および終了時、このボタンをクリックします。

④ データ通信情報表示エリア


- インターネット接続を行っている間、接続時間や使用量が表示されます。





⑤ 動作ボタン

- SMSボタン、電話帳ボタン、設定ボタン、インフォメーションボタンがあります。

 : SMS (P48)

 : 電話帳 (P57)


 : 設定 (P60)

 : インフォメーション (P46)

⑥ 日付時刻表示エリア

- 現在の日付と時刻が表示されます。
- 日付時刻はパソコンの設定に従います。

自分の電話番号を確認する


メイン画面で  をクリックすると、下のようなメッセージが表示されます。



バージョン情報


自局番号

パケット通信を利用する

メイン画面で  をクリックすると、パケット通信が使用できます。

パケット通信を開始する

1 メイン画面で をクリックする

- メイン画面に、接続時間、使用量、および接続状態アイコン  が表示されます。



- 接続先（APN）の初期設定が「定額データプラン対応mopera U」になっています。
定額データプランをご契約されていない場合は、通信を行う前に接続先（APN）の設定を変更してください。（→P66）

パケット通信中に、FOMA端末をUSBポートから引き抜くと、L-05A 接続ソフトの動作が止まったように見えることがあります（約1分程度で復帰します）。このような動作を行うと、データの消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

パケット通信を終了する


1 メイン画面で をクリックする

- 「切断しています。」というメッセージが表示された後、パケット通信が終了します。

お知らせ

- ネットワーク状態および地域によって自動で切断される場合があります。
- パケット通信では受信および送信したデータ量によって料金が課金されます。画像などを多く含むホームページの閲覧、大容量のダウンロード、データ量が多い通信を行うと通信料が高額になりますので、ご注意ください。
- ご契約のプランに関わらず、海外からのデータ通信は一律従量課金となります。

SMSを利用する

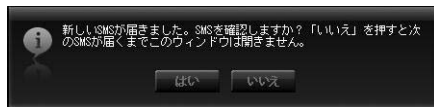
メイン画面でをクリックすると、SMSの多様な機能が利用できます。


- パソコンに保存できるSMSの件数は、パソコンの容量により異なりますが、最大1000件です。(FOMAカードトレイは除く)




SMSを受信したとき

SMSを受信すると以下の画面が表示されます。




- 1  をクリックする

SMSを作成する

- 1 SMS画面で をクリックする
- 2 SMSの編集画面でSMSを入力する
 - 文字は70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで入力できます。



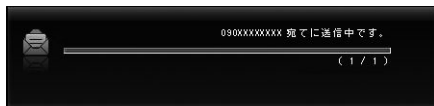
3 宛先電話番号を入力する

- 電話番号入力欄をクリックして、宛先番号を入力します。または、 をクリックして電話帳を表示させ、宛先を決定します。
- SMSや宛先を修正したい場合は、SMS編集画面や電話番号入力欄に直接入力して修正してください。



4 をクリックする

- SMSを送信します。





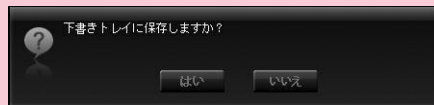
- SMS送信による結果は次の通りです。



5 をクリックする

お知らせ

- SMS作成中、他の動作に移動または送信に失敗した場合、下書きトレイ保存可否SMS画面が表示されます。 をクリックすると下書きトレイに保存します。 をクリックすると下書きトレイに保存しません。



- 「SMS一括拒否」の設定方法
ターミナルソフトにて、下記のATコマンドを使用することでSMSに関する設定を行うことができます。
ターミナルソフトについての詳細は、「通信の手動設定」を参照してください。→P79
SMS拒否設定： AT+CUSD=1,"*141*1#",15
SMS拒否設定解除： AT+CUSD=1,"#141#",15

受信トレイ

- 受信トレイにSMSが保存されます。


受信トレイでSMSを確認する

1 SMS画面でをクリックする

- 受信したSMSの一覧が表示されます。

2 一覧からSMSを選択して内容を確認する



: 開封 SMS

: 未開封 SMS

送信者の電話番号が表示

電話帳登録画面に移動→P58



お知らせ

- 未開封SMSをクリックすると、SMSの状態アイコンが開封SMSに変わります。

受信トレイから返信、転送する

1 SMS画面でをクリックする

2 受信トレイの一覧で返信/転送するSMSを選択

/ をクリックする

[返信][転送]メニューが表示されます




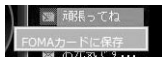
- [返信]: 宛先の電話番号が自動で入力され、SMS作成画面に移動します。
- [転送]: 転送するSMSの内容が自動で入力され、SMS作成画面に移動します。宛先の電話番号の入力が必要です。

3 をクリックする


4 をクリックする

受信トレイからFOMAカードに保存する



- 1 SMS画面で  をクリックする
- 2 SMSを選択し右クリック▶[FOMAカードに保存]をクリックする



- [FOMAカードに保存]: パソコンに保存された受信SMSをFOMAカードに保存します。
- FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

- 3  をクリックする

受信トレイでSMSを削除する


- 1 SMS画面で  をクリックする
- 2 受信トレイの一覧で削除するSMSを選択▶  をクリックする

[削除][全削除]メニューが表示されます



- [削除]: 選択されたSMSのみ削除されます。
- [全削除]: すべてのSMSが削除されます。


確認のメッセージが表示されます。

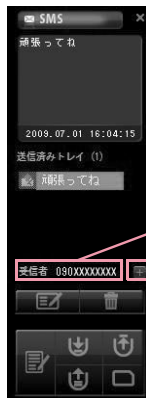
- 3  をクリックする

送信済みトレイ

- 送信済みトレイにSMSが自動で保存されます。

送信済みトレイでSMSを確認する

- 1 SMS画面で  をクリックする
 - 送信済みSMSの一覧が表示されます。
- 2 一覧からSMSを選択して内容を確認する





 : 送信済み SMS



受信者の電話番号が表示

電話帳登録画面に移動→ P58


送信済みトレイから編集する

- 1 SMS画面でをクリックする
- 2 送信済みトレイの一覧で送信するSMSを選択
▶ をクリックする
 - SMSの作成画面に移動します。




- 宛先の電話番号やSMSの内容が自動入力されると同時に、SMSの作成画面に移動します。
 - SMSの内容または、宛先の電話番号の修正および追加ができます。
- 3 をクリックする
 - 4 をクリックする

送信済みトレイからFOMAカードに保存する

- 1 SMS画面でをクリックする
- 2 SMSを選択し右クリック▶ [FOMAカードに保存]をクリックする




- [FOMAカードに保存]：パソコンに保存された送信済みSMSをFOMAカードに保存します。
 - FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。
- 3 をクリックする

お知らせ

- 送信済みトレイからFOMAカードに保存されたSMSの時間情報は保存されません。

送信済みトレイでSMSを削除する

- 1 SMS画面でをクリックする
- 2 送信済みトレイの一覧で削除するSMSを選択


▶  をクリックする

[削除][全削除]メニューが表示されます



- [削除]： 選択されたSMSのみ削除されます。
- [全削除]： すべてのSMSが削除されます。


確認のメッセージが表示されます。

- 3  をクリックする

下書きトレイ





- SMSを一時的に保存する場所です。

下書きトレイでSMSを確認する





- 1 SMS画面でをクリックする
 - 下書きトレイのSMS一覧が表示されます。
- 2 一覧からSMSを選択して内容を確認する



下書きトレイから編集する

- 1 SMS画面で  をクリックする
- 2 下書きトレイの一覧で編集するSMSを選択
▶  をクリックする
 - 宛先の電話番号やSMSの内容が自動で入力されると同時に、SMS作成画面に移動します。
 - SMSの内容または、宛先の電話番号の修正および追加ができます。
- 3  をクリックする
- 4  をクリックする


下書きトレイでSMSを削除する

- 1 SMS画面で  をクリックする
- 2 下書きトレイの一覧で削除するSMSを選択
▶  をクリックする
[削除][全削除]メニューが表示されます

 - [削除]： 選択されたSMSのみ削除されます。
 - [全削除]： すべてのSMSが削除されます。確認のメッセージが表示されます。
- 3  をクリックする

FOMAカードトレイ

- ユーザーが送信済みトレイ・受信トレイからコピーしたSMSが保存されます。
- 保存できるSMSの件数は、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件までです。

FOMAカードトレイでSMSを確認する

- 1 SMS画面で  をクリックする
 - FOMAカードに保存されたSMSの一覧が表示されます。
- 2 一覧からSMSを選択して内容を確認する





 : 受信 SMS(未開封 SMS)

 : 受信 SMS(開封 SMS)

 : 送信済み SMS



FOMAカードトレイから返信、転送する

- 1 SMS画面で  をクリックする
- 2 FOMAカードトレイの一覧で返信または転送するSMSを選択▶  をクリックする



[返信][転送]メニューが表示されます



- [返信]：宛先の電話番号が自動で入力され、SMS作成画面に移動します。
- [転送]：転送するSMSの内容が自動で入力され、SMS作成画面に移動します。宛先の電話番号の入力が必要です。

- 3  をクリックする
- 4  をクリックする

FOMAカードトレイでSMSを削除する


- 1 SMS画面で  をクリックする
- 2 FOMAカードトレイの一覧で削除するSMSを選択▶  をクリックする

[削除][全削除]メニューが表示されます




- [削除]：選択されたSMSのみ削除されます。
- [全削除]：すべてのSMSが削除されます。


確認のメッセージが表示されます。

- 3  をクリックする

FOMAカードトレイ内のSMSをパソコンに保存する

- 1 SMS画面で  をクリックする
- 2 FOMAカードトレイの一覧で、保存したいSMSを選択▶右クリックする
- 3 [パソコンに保存]をクリックする





- 4  をクリックする

電話帳を利用してSMSを送信する

- 1 電話帳画面でSMSを送信する電話帳を選択する
- 2  をクリックする
 - 宛先が自動で入力され、SMS作成画面に移動します。



- 3  をクリックする
- 4  をクリックする

お知らせ


- 「SMSを作成する」を参照してください。(P48)

日本国内から海外にSMS送信をする

■ SMSについて

- 宛先がFOMA端末の場合は、国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、相手の電話番号の前に「+」と「国番号」を入力します。または、「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します）。
- 海外の通信事業者を利用している相手に送信したSMSの本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。


電話帳を利用する


メイン画面で  をクリックすると、電話帳の多様な機能が利用できます。

FOMAカードに電話帳が登録されている場合、保存されている電話帳の一覧が表示されます。

- 電話帳登録件数は、パソコンの容量により異なります。FOMAカードへの登録件数は、最大50件です。





 : FOMA カードに保存した電話帳


 : パソコンに保存した電話帳

 : SMS 作成

 : グループ新規登録及び削除

 : グループ移動

 : 新規登録

 : 選択した電話帳の修正

 : 削除


電話帳を登録する

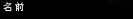
- 新規電話帳を登録します。


1 電話帳画面で をクリックする

2 次の操作を行う





 グループ名を選択します。

 登録する名前を入力します。

 登録する電話番号を入力します。

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力できます。全角で10文字、半角で21文字まで入力できます。なお、電話番号は20桁まで入力できます。

3 をクリックする

-  : 入力した情報を電話帳に保存します。
-  : 入力した情報は削除され、電話帳にも保存されません。

4 をクリックする

電話帳を検索する

1 検索する名前を入力する

- 電話番号を入力しても検索できます。



2 をクリックする

電話帳を修正する



1 修正する電話帳を選択する



2 電話帳画面で をクリックする


- 修正画面が表示されると、電話帳を修正できます。

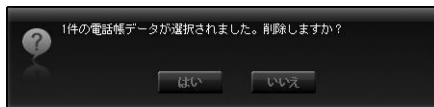
3 をクリックする



-  : 入力した情報を電話帳に保存します。
-  : 入力した情報は削除され、電話帳にも保存されません。

4 をクリックする

電話帳を削除する

- 1 削除する電話帳を選択する
- 2 電話帳画面で  をクリックする




-  : 電話帳を削除します。
-  : 電話帳の削除を取り消します。



お知らせ

- 削除する電話帳が多い場合は、パソコンのキーボードでShiftキーまたはCtrlキーを利用して一括選択した後、削除ボタンをクリックすると、選択されたすべての電話帳が削除されます。




新規グループを登録する

- 1 電話帳画面で  をクリックする
- 2 登録するグループ名を入力する
 - 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号で入力できます。全角で20文字、半角で20文字まで入力できます。



- 3  をクリックする
- 4  をクリックする



グループ名を削除する

- 1 電話帳画面で  をクリックする
- 2 削除するグループ名を選択する
- 3  をクリックする
- 4  をクリックする

お知らせ

- 「デフォルト」グループや「FOMAカード」グループは削除できません。

電話帳を別のグループに移動する


- 1 移動する電話帳を選択する
- 2 電話帳画面で  をクリックする
- 3 移動先のグループ名を選択する
- 4  をクリックする







- 選択した電話帳を移動先のグループに登録します。

お知らせ

- 2人以上の登録者を選択する場合は、パソコンのキーボードでShiftキーやCtrlキーを利用して選択した後、[移動]ボタンをクリックして一括移動できます。

環境設定

メイン画面で  をクリックすると、環境設定の多様な機能が利用できます。

-  : 使用量
-  : 基本設定（インターネットオプション）
-  : FOMAカード
-  : 接続方式設定
-  : FOMA端末リセット
-  : ネットワーク設定

L-05A 接続ソフトを使ってインターネット接続のための設定をするには、下記の事前準備が必要です。

- 1 **接続先のプロバイダ情報の設定**
「接続方式設定」の画面で、登録番号 (<cid>) 別に接続先 (APN) を登録しておきます。(→P66)
- 2 **基本設定**
「基本設定 (インターネットオプション)」の画面で、パケット通信時のダイヤル番号として「*99***<cid>#」を設定します。また、必要に応じて、プロバイダより提供されている「ユーザー名」「パスワード」を設定します。
これにより、<cid>に入力した登録番号の接続先 (APN) に接続されます。

パケット使用量を確認する

- パケット通信で送受信したデータ量を確認します。

1 環境設定画面でをクリックする




全体使用量

1ヶ月使用量

前回の使用量

全体使用量：現在まで使用した全体の使用量

：全体使用量を初期化します。

1ヶ月使用量：1ヶ月の使用量

：1ヶ月の使用量を初期化します。

前回の使用量：最後に使用したデータ量

お知らせ

- 使用したデータ量は、あくまで目安であり、実際の使用したデータ量とは異なる場合があります。

インターネットオプションを設定する

- インターネットに接続するための基本環境を設定することができます。

1 環境設定画面でをクリックする

2 次の操作を行う



ユーザー名

パスワード

ダイヤル

設定

SMSセンター番号

設定

基本設定リセット

ユーザー名：プロバイダより提供されているユーザー名


パスワード：プロバイダより提供されているパスワード


ダイヤル：パケット発信時のダイヤル番号

※パケット通信の場合、*99***<cid>#を入力します。<cid>には設定（P66）した接続先（APN）の登録番号を入力します。

SMSセンター番号


※ 通常は設定を変更する必要はありません。ドコモ以外のサービス事業者のSMSを利用する場合に、SMSセンター番号を入力します。

 (設定) : 設定を変更する場合にクリックします。

 (基本設定リセット) : 基本設定に戻す場合にクリックします。

3 該当の をクリックする

お知らせ

-  (設定) をクリックしないと設定更新がされないので、設定変更時には忘れずにクリックしてください。
- ユーザー名、パスワード、ダイヤル番号が間違った場合、インターネットに接続できません。
- SMSセンターの番号を間違えて入力した場合、SMSの送信はできません。
- Macintosh環境の場合は、ユーザー名とパスワードに、任意の文字を入力してください。

FOMAカードを設定する

- FOMAカードについての保安状態には[PIN1ロック][PIN1解除][PIN1暗証番号変更]が設定できます。

1 環境設定画面で をクリックする





PIN1ロック

- FOMAカードにセキュリティを設定します。

- 1 PIN1 モードで[PIN1ロック]を選択する
- 2 FOMAカードに設定しているPIN1コードを[PIN1]に入力する



- 3  をクリックする
- 4  をクリックする



お知らせ

- PIN1ロックの設定後、FOMA端末を抜き差ししてからL-05A 接続ソフトを再起動した場合や、FOMA端末リセットを実行後には、PIN1コード入力画面が表示されます。この場合、正確なPIN1コードを入力しないと、FOMA端末を正常に利用できません。

PIN1解除

- 1 PIN1 モードで[PIN1解除]を選択する
- 2 FOMAカードに設定しているPIN1コードを[PIN1]に入力する



- 3  をクリックする
- 4  をクリックする

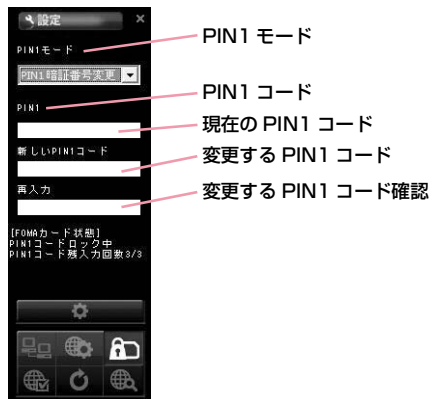
お知らせ

- PIN1解除が設定されていると、PIN1コードの確認なしにFOMAカードの情報をFOMA端末で利用できます。

PIN1コードを変更する


- PIN1解除またはPIN1ロックをする時、必要な番号を設定します。
- PIN1コードを変更するためには、PIN1ロック状態にされていないと設定できません。

1 PIN1モードで[PIN1暗証番号変更]を選択する



- 2 FOMAカードに設定している現在のPIN1コードを [PIN1]に入力する
- 3 変更するPIN1コードを[新しいPIN1コード]に入力する
- 4 [再入力]に[新しいPIN1コード]に入力したPIN1コードを入力する

5  をクリックする

6  をクリックする

PIN1コードを入力する

- PIN1ロックが設定された状態でL-05A 接続ソフトを起動した場合やFOMA端末をリセットして再起動した場合、PIN1コード入力画面が表示されません。

1 PIN1コードを入力する

PIN1コードは4～8桁で入力します。



2 PIN1コード入力結果を確認する

例1 :PIN1コード入力を正しく行った場合



例2 :PIN1コードが誤っている場合




例3 :PIN1コード入力を3回連続して失敗した場合

- PIN1コード入力を3回連続して失敗した場合は、PIN1ロック解除コード設定画面が表示されます。



■ PIN1ロック解除コード設定

- 1 FOMAカードに入力されているPIN1ロック解除コードを、[PIN1ロック解除コード]に入力します。
- 2 変更するPIN1コードを[新しいPIN1コード]に入力します。
- 3 [再入力]に[新しいPIN1コード]に入力したPIN1コードを入力します。
- 4  をクリックします。

ご注意

- FOMAカードを紛失しないようご注意ください。盗難や紛失による被害は当社としては責任を負いかねます。
- FOMAカードを他人に譲渡しないでください。
- FOMAカードに保存されているデータは傷や変形によって損傷されやすいので、使用の際はご注意ください。
- FOMA端末をパソコンに初めて取り付ける場合、PIN1ロックに設定されていると、当該PIN1コードを入力しなければFOMAカードは利用できません。
- PIN1コードを3回連続して失敗した場合、サービスが中止されます。再使用する場合にはPIN1ロック解除コードを入力しなければなりません。
- PIN1ロック解除コードの入力を10回連続して失敗するとFOMAカードがロックされますので、PIN1ロックを解除できなくなった場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

接続方式 (PDP Type) を設定する

- 接続方式設定を行います。

1 環境設定画面で  をクリックする

2 次の操作を行う



1 登録番号 (cid)

2 接続方式

3 接続先 (APN)

4 接続方式登録

5 接続方式設定リセット

1 登録番号 (cid)

登録番号 (cid) を設定します。
FOMA 端末には cid1 から cid10 までの登録番号があります。
「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダの接続先 (APN) は任意の番号 cid2、cid4、または cid6~10 が設定できます。

2 接続方式

インターネット接続タイプは PDP type IP、PDP type PPP があります。利用するプロバイダのインターネット接続タイプの選択や現在設定されているインターネット接続タイプの確認ができます。

3 接続先 (APN)

接続先 (APN) はパケット通信を実行する場合の接続先を設定します。利用するプロバイダの接続先 (APN) の設定や現在設定されている接続先 (APN) の確認ができます。

4 (接続方式登録)

編集した情報を FOMA 端末に登録します。

5 (接続方式設定リセット)

PDP の設定を全てリセットします。

プロバイダ情報を保存または編集する

- 利用するプロバイダの情報を保存または編集します。

1 cid を選択 ▶ 保存/編集する登録番号を選択します。



■ cid

FOMA 端末には cid1 から cid10 までの登録番号があります。

- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダの接続先 (APN) は任意の番号 cid2、cid4、または cid6~10 が設定できます。

登録番号 (cid)	接続先 (APN)	データプラン
1	mopera.ne.jp (mopera)	従量接続
2	未設定	-
3	mopera.net (mopera U)	従量接続
4	未設定	-
5	mopera.flat.foma.ne.jp	定額接続
6~10	未設定	-

2 アクセスポイントに対応するインターネット接続タイプを選択します。



3 接続先(APN)を入力します。

- 「cid=5」を選択した場合、「PDP type IP」、mopera.flat.foma.ne.jpを設定してください。このサービスでは、受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsサービスが利用できます。
- 「cid=3」を選択した場合、「PDP type IP」、mopera.netを設定してください。このサービスでは受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsサービスが利用できます。
- 「cid=1」を選択した場合、「PDP type PPP」、mopera.ne.jpを設定してください。このサービスでは受信最大384kbps、送信最大384kbpsサービスが利用できます。

お知らせ

■ 発信者番号通知の設定方法
APNの前に186/184を付加することで、発信者番号の通知の可否を設定できます。

- 発信者番号通知をする場合はAPNの前に、「186.」を付加してください。
- 発信者番号通知をしない場合はAPNの前に、「184.」を付加してください。

通知/非通知	接続先 (APN)
通知	186.mopera.net
非通知	184.mopera.net

4 をクリック ▶ をクリック

プロバイダの情報を読み込む

① [登録番号]から確認するcidを選択すると、② [接続方式]と③ [接続先 (APN)]が表示されます。

FOMA端末をリセットする

- FOMA端末をリセットできます。

1 環境設定画面で をクリックする



FOMA 端末リセット

■ FOMA端末リセット

下のような場合にFOMA端末をリセットします。

- FOMA端末に異常が生じた場合
- パソコンにFOMA 端末が取り付けられた状態でFOMAカードを再挿入した場合

2 をクリックする

- FOMA端末が再起動します。



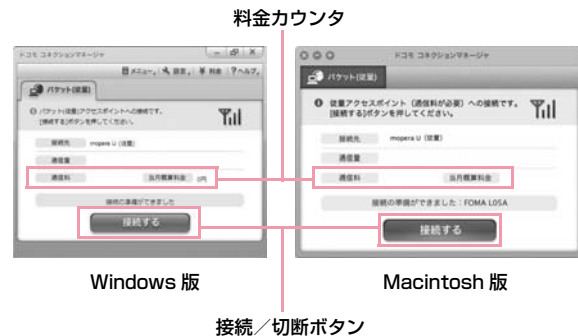
ドコモ コネクションマネージャ

ドコモ コネクションマネージャ	70
Windows版	71
Macintosh版	75

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uのお申込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。

また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。



本書では、ドコモ コネクションマネージャのインストール方法までをご案内いたします。

端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（「mopera U」など）のご契約が必要です。

詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

お知らせ

■ 定額データプランのご利用について

- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プラン・インターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

■ 従量制データ通信のご利用について

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロード（例：アプリケーションや音楽・動画データ、OS・ウイルス対策ソフトのアップデート）などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。

なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイ フル」、「Biz・ホーダイ」の定額対象外通信、「Biz・ホーダイ ダブル」の上限額対象外通信となりますのでご注意ください。

■ moperaのご利用について

- 接続設定方法については mopera のホームページをご確認ください。

<http://www.mopera.net/mopera/support/index.html>

Windows版

ドコモ コネクションマネージャは、FOMA端末に同梱されているCD-ROMのVer3.0.1をご利用ください。ドコモ コネクションマネージャの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

■ Internet Explorerの設定について

本ソフトをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定を[ダイヤルしない]に設定してください。



- 1 Internet Explorerを起動▶
[ツール] ▶ [インターネットオプション] を選択する
- 2 [接続] タブを選択▶ [ダイヤルしない] を選択する
- 3 [OK] をクリックする

お知らせ

■ ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

本ソフトには、以下のソフトと同等の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。

※ 必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMA バイトカウンタ

また、本ソフトでMzone（公衆無線LAN接続）利用する場合は、以下の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。

※ 以下のソフトを同時にインストールした場合、本ソフトでのMzone接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

1 ドコモ コネクションマネージャを使用するユーザーでログオンする

■ Windows Vistaの場合

管理者アカウントが必要です。管理者アカウント以外でログオンしている場合は、インストールの途中で、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されません。

■ Windows XP/2000の場合

Administratorsグループに所属しているユーザーや「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンします。

2 起動しているアプリケーションをすべて終了する

ウイルスチェックソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。

- 例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、[閉じる]または[終了]を選択します。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

1 付属CD-ROMからドコモ コネクションマネージャを起動する

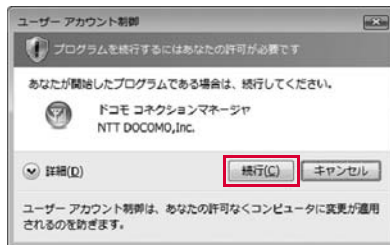
[付属CD-ROM] ▶ [Windows] ▶ [dcm_connect_manager] ▶ [dcm_connect_mng_setup.exe] を選択します。

お知らせ

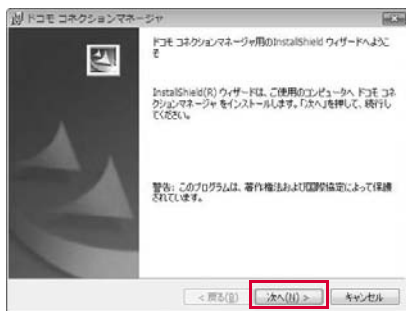
- Windows XPで、MSXML6・Wireless LAN APIが環境にない場合は、ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、それらをインストールする必要があります。確認の画面が表示されたときは [Install] ボタンを押して、MSXML6・Wireless LAN API をインストールします。
- MSXML6・Wireless LAN APIのインストール完了後、Windows を再起動すると、自動的にドコモ コネクションマネージャのインストールがはじまります。

2 [続行]をクリックする

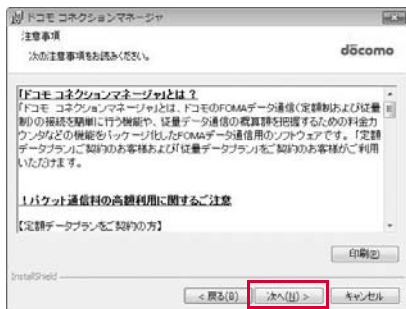
Windows XP/2000の場合、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。すぐにセットアッププログラムが起動します。



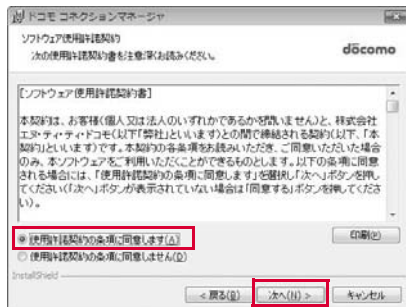
3 [次へ]をクリックする



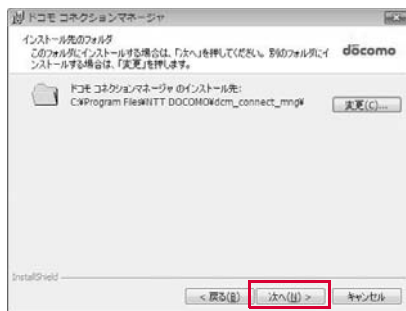
4 注意事項を必ず確認のうえ、[次へ]をクリックする



5 使用許諾契約書の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする

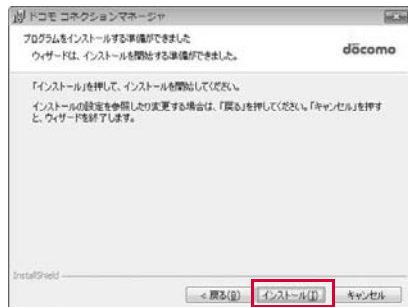


6 インストール先のフォルダを確認して、[次へ]をクリックする



7 [インストール]をクリックする

インストールがはじまります。



8 [完了]をクリックする

これでインストールは完了です。



ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 「スタート」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」

ドコモ コネクションマネージャが起動します。

2 初回起動時には、設定ウィザードが表示される

以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。

詳しくは、ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル.pdfをご覧ください。

- L-05A 接続ソフトでPIN1ロックを設定している場合、PIN1設定を解除してから起動してください。



お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。



切断ボタン

Macintosh版

ドコモ コネクションマネージャは、FOMA端末に同梱されているCD-ROMのVer1.00.0004をご利用ください。ドコモ コネクションマネージャの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

1 付属CD-ROMからドコモ コネクションマネージャを起動する

- 「付属CD-ROM」▶「Mac」▶「dcm_connect_manager」▶「dcm_for_Mac」▶「インストール」▶「ドコモ コネクションマネージャをインストールします」を選択しOKを押します。

2 [続ける]をクリックする



3 [続ける]をクリックする



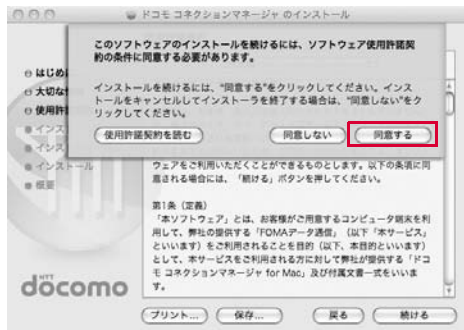
4 「大切な情報」を必ず確認のうえ、[続ける]をクリックする



5 [続ける]をクリックする



6 「使用許諾契約」の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、[同意する]を選択する



7 インストール先のフォルダを確認して、[インストール]をクリックする



8 管理者の名前とパスワードを入力▶[OK]をクリックする

Mac OS Xをセットアップしたときに作成したユーザーアカウントがコンピュータの管理者となります。その際に使用した名前とパスワードを入力してください。



9 [インストールを続ける]をクリックする



10 [ログアウト]をクリックする

これでインストールは完了です。



ドコモ コネクションマネージャを起動する

1 「アプリケーション」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」

- ドコモ コネクションマネージャが起動します。

2 初回起動時には、自動的に設定アシスタントが表示される

以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。

詳しくは、ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル.pdfをご覧ください。

- L-05A 接続ソフトでPIN1ロックを設定している場合、PIN1設定を解除してから起動してください。



お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。



切断ボタン

通信の手動設定

ダイヤルアップネットワークを手動で設定する	80
通信を行う (ダイヤルアップ接続する)	98

ダイヤルアップネットワークを手動で設定する

L-05A 接続ソフトやドコモ コネクションマネージャを使用せずに、パケット通信のダイヤルアップ接続を設定する方法について説明します。

接続先 (APN) の設定をする

パケット通信で使う接続先 (APN) を設定します。接続先 (APN) は最大10件設定でき、登録番号 (cid) で管理します。設定には、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- お買い上げ時、登録番号 (cid) 1にはmopera.ne.jp、3にはmopera.net、5にはmopera.flat.foma.ne.jpが設定されていますので、接続先を設定するときは、cid2、cid4、または6~10に設定してください。
- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaで設定する場合は、Windows Vistaに対応する通信ソフトをご使用ください。設定方法については、ご使用になるソフトの取扱説明書などをご参照ください。
- 「mopera U」または「mopera」以外の接続先 (APN) については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

Windows XPの場合

- 1 FOMA端末とパソコンを接続する
 - 接続方法→P22
- 2 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする
ハイパーターミナルが起動します。
 - Windows 2000の場合
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」をクリックします。
- 3 「名前」欄に任意の接続先名を入力▶[OK]をクリックする



4 「電話番号」欄に実在しない電話番号(「0」など)を入力▶「接続方法」に「FOMA L05A」と表示されていることを確認▶[OK]をクリックする

- 複数のモデム名が「接続方法」欄に表示される場合は、FOMA端末のモデム名を確認して選択してください。→P35



5 接続画面で[キャンセル]をクリックする

ハイパーターミナルの入力画面が表示されます。



6 接続先(APN)を入力▶[Enter]を押す

AT+CGDCONT=<cid>,<PDP type>,<APN>[Enter]の形式で入力します。

<cid>、<PDP type>、<APN>の部分には、それぞれ次の情報を任意で入力してください。

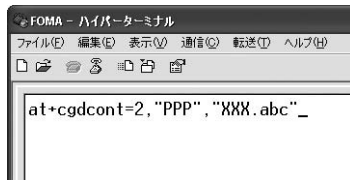
入力後、「OK」と表示されれば、接続先 (APN) の設定は完了です。

cid : 2、4、6～10の内の任意の番号を入力します。
※ 既にcidが設定されている番号を選択した場合は、設定が上書きされますのでご注意ください。

PDP type : 接続先が対応する接続方式をPPPまたはIPのどちらかから選択して、" "で囲んで入力します。

APN : 接続先 (APN) を" "で囲んで入力します。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1 [Enter]を入力してください。



cid2に、PDP typeがPPP、APNがXXX.comの接続先を登録する場合

- 指定したcidの接続先 (APN) の設定をリセットする場合
AT+CGDCONT=<cid>[Enter]を入力します。
- 設定されている接続先 (APN) を確認する場合
AT+CGDCONT[Enter]を入力します。

7 「OK」と表示されることを確認する



8 「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

9 切断の確認画面で[はい]をクリック▶保存の確認画面で[いいえ]をクリックする

ハイパーターミナルが終了し、接続先 (APN) の設定が完了します。

お知らせ

- 接続先 (APN) は、FOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は接続先 (APN) を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先 (APN) を継続利用する場合は、FOMA端末の同じ登録番号 (cid) に同じ接続先 (APN) を登録してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パソコンから通信 (ダイヤルアップネットワーク) の設定をします。

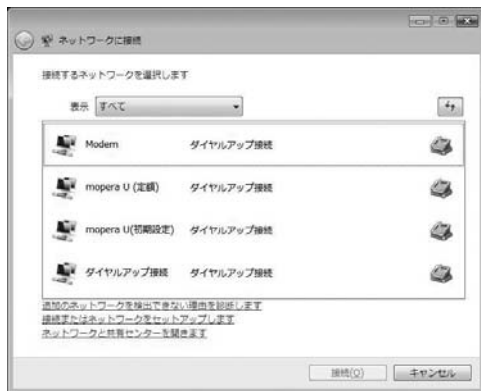
- 「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合の設定内容については、ご利用のプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

例：<cid>=3に登録されているドコモのインターネット接続サービス「mopera U」へ接続する場合

Windows Vistaの場合

1 [スタート]▶[接続先]を順にクリックする

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする



3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択
▶[次へ]をクリックする



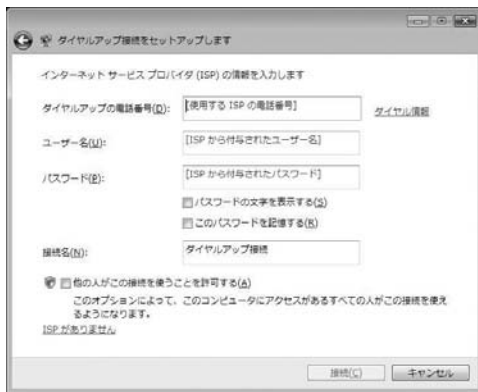
4 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L05A」をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されま
す。



5 各種設定を行い、[接続]をクリックする

- 「ダイヤルアップの電話番号」欄に接続先の番号を入力します。
- 「ユーザー名」「パスワード」の各欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。



6 「(接続名)に接続中...」画面で[スキップ]をクリックする

接続テストは行わずに、設定のみ確認します。

- 「スキップ」をクリックしない場合、インターネットに接続されませんのでご注意ください。



7 「接続をセットアップします」▶[閉じる]をクリックする



8 [スタート]▶「接続先」を順にクリックする

9 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶右クリックして「プロパティ」をクリックする

10 「全般」タブの各項目の設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム-FOMA L05A」のみにチェックが付いていることを確認します（チェックが付いていない場合には、チェックします）。

- 「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します（チェックが付いている場合は、チェックを外します）。



11 「ネットワーク」タブをクリック▶各種設定を行う

「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」にチェックを付けます。

「QoS/パケットスケジューラ」の設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者の指定に従ってください。

- TCP/IPを設定する場合は、[プロパティ] をクリックします。設定については、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。



12 「オプション」タブをクリック▶[PPP設定]をクリックする

13 すべての項目のチェックを外す▶[OK]をクリックする



14 「オプション」タブの画面で[OK]をクリックする

1 [スタート]▶[すべてのプログラム]▶[アクセサリ]▶[通信]▶[新しい接続ウィザード]を順にクリックする

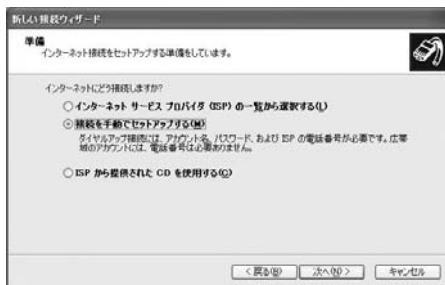
2 新しい接続ウィザード画面で[次へ]をクリックする



3 「インターネットに接続する」を選択▶[次へ]をクリックする



4 「接続を手動でセットアップする」を選択▶[次へ]をクリックする



5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択
▶[次へ]をクリックする



6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は「モデム - FOMA L05A (COM4)」のチェックボックスを
チェック▶[次へ]をクリックする

デバイスの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。



7 「ISP名」に任意の名前を入力▶[次へ]をクリックする



8 「電話番号」に接続先番号を入力▶[次へ]をクリックする



■ バケット通信の場合

*99**<cid>#を入力します。<cid>には設定 (P66) した接続先 (APN) の登録番号を入力します。

9 接続の利用範囲を選択▶[次へ]をクリックする

ユーザーの選択を任意で行ってください。

- パソコンの設定によっては、この画面が表示されない場合があります。

10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」の各欄に入力▶[次へ]をクリックする

プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

- 「ユーザー名」「パスワード」はご利用プロバイダの指示情報に従って大文字、小文字などに注意しながら正確に入力してください。
- 「mopera U」または「mopera J」の場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。

11 [完了]をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

12 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

13 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶右クリック▶「プロパティ」をクリックする



14 「全般」タブで設定を確認する

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム-FOMA L05A (COM4)」のみチェックします。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。



15 「ネットワーク」タブをクリック▶各項目を確認

- 「呼び出すダイヤルアップ サーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
- 「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択します。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどに接続する場合のTCP/IP設定は、プロバイダまたはネットワーク管理者に確認してください。



16 [設定]をクリックする

17 すべての項目のチェックを外す▶[OK]をクリックする

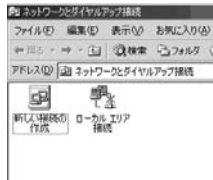


18 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

Windows 2000の場合

1 [スタート]▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

2 ネットワークとダイヤルアップ接続画面で「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックする



3 「所在地情報」画面が表示された場合は「市外局番」を入力▶[OK]をクリックする

「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は操作5に進んでください。

4 電話とモデムのオプション画面で[OK]をクリックする

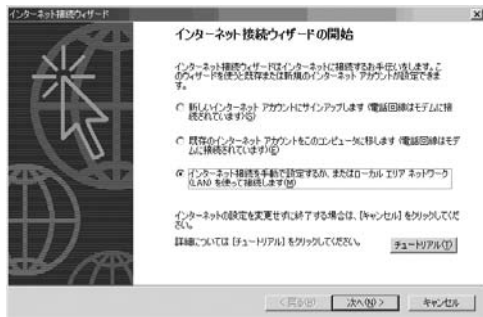
5 ネットワークの接続ウィザード画面で▶[次へ]をクリックする



6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択▶[次へ]をクリックする



7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択▶[次へ]をクリックする



8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択▶[次へ]をクリックする



9 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA L05A」を選択▶[次へ]をクリックする

モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

- 「FOMA L05A」が表示されていない場合は、「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄をクリックして「FOMA L05A」を選択します。



10 「電話番号」に接続先電話番号を入力▶[詳細設定]をクリックする

- 「市外局番」の欄には何も入力しません。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」にチェックはしないでください。

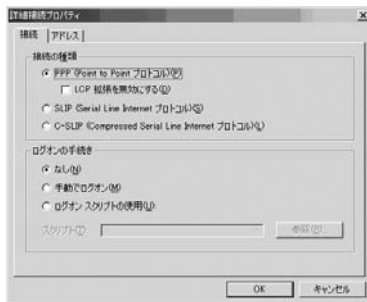


■ パケット通信情報

「*99***<cid>#」を入力します。<cid>には接続先の登録番号を入力します。

11 「接続」タブの画面で画面例のように設定を行う

- 「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合、「接続の種類」「ログオンの手続き」については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従って設定してください。



12 「アドレス」タブをクリック▶各項目を設定▶[OK]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合は、「IPアドレス」「ISPによるDSN（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」については、ご利用になるプロバイダの指示情報に従ってください。



13 「インターネットアカウントの接続情報」画面で[次へ]をクリックする

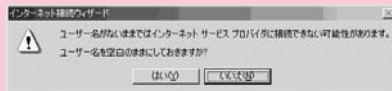
14 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[次へ]をクリックする

- 「ユーザー名」「パスワード」は、ご利用のプロバイダの指示情報に従って大文字、小文字などに注意しながら正確に入力してください。



お知らせ

- 「mopera U」または「mopera」の場合「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。この場合「ユーザー名を空白のままにしておきますか?」という画面が表示されます。それぞれの画面で「はい」をクリックしてください。



15 「接続名」欄に任意の接続先名を入力▶[次へ]をクリックする



16 [はい]を選択▶[次へ]をクリックする

- インターネットメールの設定をする場合は、「はい」を選択して設定します。設定する場合の詳細については、ご利用になるプロバイダにお問い合わせください。

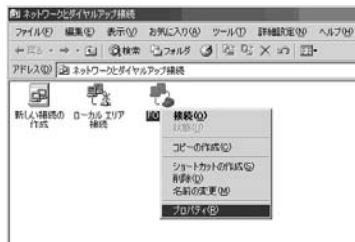


17 [完了]をクリックする

- 「今すぐインターネットに接続するにはここを選び完了をクリックしてください」が表示される場合はチェックを外します。



18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択▶「ファイル」▶「プロパティ」を順にクリックする



19 「全般」タブの画面で設定を確認する

- パソコンに複数のモデムが接続されている場合は、接続の方法で「モデム - FOMA LO5A (COM3)」のみチェックします。
- 「ダイヤル情報を使う」のチェックを外します。



20 「ネットワーク」タブをクリック▶各項目を確認▶[設定]をクリックする

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
- コンポーネントは、「インターネットプロトコル (TCP/IP)」のみチェックします。



21 [設定]をクリックする

22 すべての項目のチェックを外す▶[OK]をクリックする



23 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

通信を行う(ダイヤルアップ接続する)

L-05A 接続ソフト/ドコモ コネクションマネージャを使わない通信および通信の切断の操作について説明します。

- 通信する前にFOMA端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P22
- 通信するときは、設定に使用したFOMA端末を接続してください。異なるFOMA端末を接続した場合は、L-05A 接続ソフト（ドライバ含む）の再インストールが必要になる場合があります。
- L-05A 接続ソフトでPIN1ロックを設定している場合、PIN1 設定を解除してから起動してください。

Windows Vistaの場合

1 (スタート)▶[接続先]を順にクリック▶設定した接続先を選択▶[接続]をクリックする

■ Windows XPの場合

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

■ Windows 2000の場合

「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。

2 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[ダイヤル]をクリックする

接続先に接続されます。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は「ユーザー名」「パスワード」の各欄は空欄のまま、[ダイヤル]をクリックしても接続できます。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄に入力し、[ダイヤル]をクリックしてください。
- ユーザー名とパスワードの保存、またはパスワードの保存にチェックを付けると、次回からは入力を省略できます。
- OSの種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。ただし、以前に接続完了のメッセージを表示しない設定にした場合は、完了画面は表示されません。



通信を切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

Windows Vistaの場合

1 パソコンのタスクトレイの (ダイヤルアップアイコン)をクリックする

接続状態を示す画面が表示されます。

2 「接続または切断」をクリックする



■ Windows XP/2000の場合

上記の画面が表示されませんので、次の手順に進んでください。

3 [切断]をクリックする

通信が切断されます。



お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

海外利用

国際ローミング (WORLD WING) の概要	102
海外で利用できるサービス	102
海外でご利用になる前の確認	103
通信事業者の検索方法を設定する	105
ネットワークを設定する	106

国際ローミング (WORLD WING) の概要

国際ローミング (WORLD WING) とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話や通信ができるサービスです。

- 海外のネットワークには、以下の3種類の通信方式があります。

■3Gネットワーク

世界標準規格である3GPP (3rd Generation Partnership Project) *に準拠した第3世代移動通信方式です。

※ 第3世代移動通信システム (IMT-2000) に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

■GSM (Global System for Mobile Communications) ネットワーク

世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信方式です。

■GPRS (General Packet Radio Service) ネットワーク

GSM通信方式を利用してGPRSによる高速パケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動通信方式です。

- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
 - 『ご利用ガイドブック (国際サービス編)』
 - ドコモの『国際サービスホームページ』
- 3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。

海外で利用できるサービス

接続先 (APN) の海外事業者やネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。

利用できる通信サービス

サービス	説明
データ通信 *1	パケット通信によるデータ通信が利用できません。
SMS *2	日本国内のFOMA端末利用者やドコモ以外の海外通信事業者の利用者とSMSの送受信ができません。

※1 GSM通信方式ではパケット通信はできません。
ご契約のプランに関わらず、海外からのデータ通信は一律従量課金となります。

※2 海外でご利用の際にSMS送信を行った場合には、通信料が発生いたしますのでご了承ください。

お知らせ

- 国際ローミング中に利用できる通信サービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック (国際サービス編)』または、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- L-OSAでは、日本国内含め、音声通話およびテレビ電話をご利用いただけません。

海外でご利用になる前の確認

STEP1：出発前の準備について

STEP2：滞在先での利用について

STEP3：帰国後の設定について

出発前の準備について

■ ご契約について

- 2005年9月1日以降にFOMA サービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
2005年8月31日以前にFOMA サービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 「WORLD WING」を契約したFOMAカード(緑色/白色)を本FOMA端末に取り付けておく必要があります。

■ 滞在先の国、地域の電源、電圧について

- 使用する国、地域によって電源電圧や、コンセントの形状が異なります。事前に、利用するパソコンの取扱説明書やパソコンメーカーのホームページなどで、利用方法を確認してください。

■ ネットワーク設定

- 海外でネットワークの設定を変更することができます。→P106

■ インターネット利用について

- 海外でインターネットなどをご利用になる場合の海外アクセスポイントや設定方法については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
- mopera Uをご利用のお客様は、mopera Uのホームページをご覧ください。<http://www.mopera.net/>

■ 定額データプラン契約時の接続先限定の設定について

- 定額データプラン契約のお客様は、接続先限定を設定していると、従量接続先設定を作っても接続できません。事前に接続先限定の解除を申し出ていただく必要があります。

滞在先での利用について

■ ネットワークの切り替えについて

お買い上げ時の設定では、接続先の検索と接続は自動で行われますので、特に設定を行う必要はありません。

■ メイン画面の表示について

「ネットワーク情報」設定が「表示する」に設定されている場合は、現在接続している事業者の情報が表示されます。→P106



お知らせ

- ネットワークの切り替えを手動で設定することもできます。あらかじめ接続するネットワークがわかっているときなどに利用できます。「ネットワークを設定する」操作3(P106)を参照してください。

海外でのお問い合わせについて

万が一、FOMAカード(緑色/白色)を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

■ 主要国の国番号

利用地域	番号	利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ	689	モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

※ この他の国の番号および詳細については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

■ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）

利用地域	番号	利用地域	番号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0021
カナダ	011		0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

利用地域	番号	利用地域	番号
アイルランド	00	台湾	00
アメリカ合衆国	011	中国	00
アルゼンチン	00	デンマーク	00
イギリス	00	ドイツ	00
イスラエル	014	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
オーストラリア	0011	ハンガリー	00
オーストリア	00	フィリピン	00
オランダ	00	フィンランド	990
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ブラジル	0021
コロンビア	009	ベルギー	00
シンガポール	001	ポルトガル	00
スイス	00	香港	001
スウェーデン	00	マレーシア	00
スペイン	00	南アフリカ	09
タイ	001	ルクセンブルク	00

※ この他の国の番号および詳細についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

帰国後の設定について

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的にFOMAネットワークに接続します。

■ 接続できない場合

「ネットワークを設定する」(P106)の「ネットワーク検索」を「自動検索」に設定してください。

通信事業者の検索方法を設定する

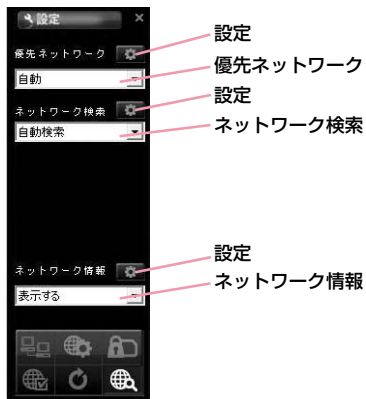
接続する通信事業者を手動で切り替える

お買い上げ時は滞在先で利用できるネットワーク（通信事業者）を自動的に検索して接続します。ご利用になる地域のネットワークがわかっていない場合や、自動で適切に検索できない場合は、接続するネットワークを手動で設定することもできます。詳しくは「ネットワークを設定する」操作3（P106）を参照してください。

ネットワークを設定する

- L-05A 接続ソフトでネットワーク関連設定ができます。

1 環境設定画面で をクリックする



2 「優先ネットワーク」(ネットワーク優先順位選択設定)を指定する


3 ネットワークを検索する

- [自動検索]
ネットワークを自動で検索して選択します。
- [手動検索]*
一覧で表示される通信事業者に手動で接続します。
※ 渡航先で手動検索でネットワーク選択した場合は、帰国後に「自動検索」に設定を戻してください。

4 ネットワーク情報を表示するかどうかを指定する


- [表示する]
現在、接続しているネットワークの名前を画面に表示します。
- [表示しない]
現在、接続しているネットワークの名前を画面に表示しません。

5 該当の をクリックする

- 該当の  をクリックしなければ入力した情報は設定できません。

6 をクリックする

お知らせ

- ネットワークを手動で設定する
 - [手動検索]を選択します。
 - ネットワークを検索した後、一覧が表示されます。
 - ネットワークの一覧から、一つを選択します。
 -  をクリックします。
- ネットワーク情報を「表示する」に設定しても国内（FOMAネットワーク）在圏時には、通信事業者名は表示されません。
- 手動検索機能を利用してネットワークを変更した場合、インターネットやSMSができないことがあります。
- 海外で利用する場合
 - 「ネットワーク検索」を「自動検索」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。
 - 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

付録／困ったときには

ATコマンドについて	110
ATコマンド一覧	111
故障かな?と思ったら、まずチェック	119
こんな表示が出たら	121
保証とアフターサービス	123
ソフトウェア更新について	124
主な仕様	125
輸出管理規制	126
知的財産権	128
索引	129

ATコマンドについて

パソコンでFOMA端末の機能の設定や状態の確認を行うためのコマンド(命令)です。通常は通信ソフトがATコマンドを発行するので、ATコマンドを意識する必要はありません。独自にATコマンドを入力しFOMA端末を制御したい場合に利用します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

<入力例>

ATD * 99 * * * 3 # [Enter]

- リターンマーク
- パラメータ:コマンドの内容です
- コマンド名

- ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。通信ソフトのターミナルモード画面では最初の文字から[Enter]の直前の文字までが1行になります。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンなどを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

ATコマンド一覧

ATコマンド一覧は「L-05A」モデムポートで使用できるATコマンドです。

- [&F]：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
- [?][=?]：コマンド後に[?]を付けると現在の設定を表示し、[=?]を付けると有効範囲を表示します。

ATコマンド	概要	パラメータ/ 説明	コマンド実行例
AT&C<n>	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：CDは常にONにします。 n=1（初期値）：CDは相手モデムの状態に応じて変化します。	AT&C1 OK
AT&F<n>	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の設定値に戻します。通信中に実行した場合は、通信切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	-
AT+CGDCONT [?] [=?]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P117を参照	P117を参照
AT+CGEQMIN [?] [=?]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。	P117を参照	P117を参照
AT+CGEQREQ [?] [=?]	パケット通信の発信時に、ネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	P117を参照	P117を参照
AT+CGMR	FOMA 端末のS/Wバージョンを表示します。	-	AT+CGMR 1234567890123 456 OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGREG=<n> [&F] [?] [=?]	ネットワーク登録状況を通知するかどうかを設定します。	<n> n=0: 通知しません (初期値)。 n=1: 圏内・圏外に切り替わったときに通知します。 「AT+CGREG?」を実行すると「+CGREG: <n>,<state>」の形式で表示されます。 <state> 0: パケット圏外 1: パケット圏内 4: 不明 5: パケット圏内 (ローミング中)	AT+CGREG? +CGREG:0,1 OK AT+CGREG=? +CGREG:(0,1) OK
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	-	AT+CGSN 12345678901 2345 OK
AT+CMEE=<n> [&F] [?] [=?]	FOMA端末のエラーレポートの形式を設定します。	n=0: 「ERROR」と表示します。(初期値) n=1: 「+CMEE ERROR:xxxx」の形式 (xxxx は数字) で表示します。 n=2: 「+CMEE ERROR:xxxx」の形式 (xxxx は文字) で表示します。 ※ ATZ、またはAT&Fコマンドを使用して初期化した場合、“0”に設定されます。 L-05Aに電源投入後と、ATZ、またはAT&Fコマンドを使用した場合の値が異なりますのでご注意ください。	AT+CMEE=0 OK AT+CMEE? +CMEE:0 OK AT+CMEE=? +CMEE:(0-2) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/ 説明	コマンド実行例
AT+CNUM	FOMA端末の自局番号を表示します。	「AT+CNUM」を実行すると「+AT+CNUM CNUM:<number>、<type>」の形式で表示されます。 number: 電話番号 type=129: 国際アクセスコード+を含まない type=145: 国際アクセスコード+を含む	AT+CNUM +CNUM: "09012345678",1 29 OK
AT+COPS= [<mode> [<format> [,<oper> [<stat>]]]] [?] [=?]	通信事業者名/Plmn番号を選択設定します。	<mode> 0: オート (自動的にネットワークを検索して通信事業者を切り替える) 1: マニュアル (<oper> に指定された通信事業者に接続する) 2: 通信事業者との接続を解除 (切断) する ※ 非サポートとなります。 3: マッピングを行わない 4: マニュアルオート (<oper> に指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行う) ※ 非サポートとなります。 <format> 2: 固定値 <oper> は国番号 (MCC) とネットワーク番号 (MNC) が表示されます。 MCC=440, MNC=10 の場合 "44010" と表示されます。	AT+COPS? +COPS:0 OK AT+COPS=? +COPS:(2,..,"44F001",2),(3,..,"44F002",2)..(0,1,3,4),(2) OK
AT+CPAS [=?]	FOMA端末への制御信号が使用できるかどうかを表示します。	「+CPAS:<n>」の形式で表示します。 n=0: 可能 n=3: 可能かつ着信中 n=4: 可能かつ通信中	AT+CPAS +CPAS:0 OK AT+CPAS=? +CPAS:(0-4) OK

ATコマンド	概要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CPIN=" PIN" / AT+CPIN=" PUK" " PIN" [?]	FOMAカードのPIN1コードまたはPIN1ロック解除コードを入力するためのコマンドです。	" PIN" にはPIN1コード、" PUK" にはPIN1ロック解除コードを入力します。 「AT+CPIN?」を実行すると「+CPIN:<n>」が表示されます。 n=READY: 認証済み n=SIM PIN: 入力待ち n=SIM PUK: PIN1ロック解除コード入力待ち n=ERROR: ロック状態	(+CPIN:SIM PIN 状態) AT+CPIN=" 1234" OK (+CPIN:SIM PUK 状態) AT+CPIN=" 12345678" ," 1234" OK
AT+CUSD [&F] [?] [=?]	付加サービス等に関し、ネットワークの設定を変更、設定内容の問い合わせを行います。	書式: AT+CUSD=<n>,"<str>"[,<0> n=0: 中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出しない (初期値) n=1: 中間リザルト <m>[<str>,<dcs>]を送出する 中間リザルト: m=0: 設定完了 m=1: ネットワークから情報要求あり。 str : 0~9、#、*のみ使用可能。 <str>は"で囲む	AT+CUSD=0, "xxxxxxx" OK AT+CUSD=1,"* 148*1*0000#",0 +CUSD:0,"148* 7#",0 OK AT+CUSD? +CUSD:0 OK AT+CUSD=? +CUSD:(0-2) OK
AT*DANTE	FOMA端末の電波状態（アンテナマークの棒の本数）を表示します。	リザルトの書式: * DANTE:<m> m=0: 圏外の状態 m=1: アンテナが0本または1本表示される状態 m=2: アンテナが2本表示される状態 m=3: アンテナが3本表示される状態	AT*DANTE * DANTE:3 OK
AT+GCAP	FOMA端末の能力リストを表示します。	-	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+W OK

ATコマンド	概要	パラメータ/ 説明	コマンド実行例
AT+GMI	FOMA端末の製造会社名を表示します。	-	AT+GMI LG Electronics Inc. OK
AT+GMM	FOMA端末名を表示します。	-	AT+GMM FOMA L05A OK
AT+GMR	FOMA端末のS/Wバージョンを表示します。	-	AT+GMR L05A-01-Vxxx-440-10 OK
AT+IFC=<n>.<m> [&F] [?] [=?]	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。	n : DCE by DTE の制御 n=0 : フロー制御を行いません。 n=1 : XON/XOFF 制御を行います。 n=2 (初期値) : RS/CS (RTS/CTS) フロー制御を行います。 m : DTE by DCE の制御 m=0 : フロー制御を行いません。 m=1 : XON/XOFF 制御を行います。 m=2 (初期値) : RS/CS (RTS /CTS) フロー制御を行います。	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC:2,2 OK AT+IFC=? +IFC:(0,1,2),(0,1,2) OK
AT+WS46=<n> [&F] [?] [=?]	発信時にFOMA端末が使用する無線ネットワークを設定します。	n=12 : GSM n=22 : 3G (W-CDMA) n=25 : GSM+3G (W-CDMA)	AT+WS46? 25 OK
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。	コマンド入力後 <input type="checkbox"/> は必要ありません。	A/ OK
ATD	パケット発信をします。	パケット発信 : ATD*99*** <cid># <cid>1~10 : +CGDCONT 設定したAPN を表します。	ATD*99***3# CONNECT 7200000

ATコマンド	概要	パラメータ/ 説明	コマンド実行例
ATE<n> [&F]	パソコンから送信された文字をエコーバックするかどうかを設定します。	n=0 : エコーバックしません。 n=1 (初期値) : エコーバックします。	ATE1 OK
ATI<n>	認識コードを表示します。	n=0 : [NTT DoCoMo] と表示します。 n=1 : FOMA端末名を表示します。(+GMM と同じ) n=2 : FOMA端末バージョンを表示します。(+GMR と同じ) n=3 : OK を表示します。 n=4 : FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示します。	ATIO NTT DoCoMo OK
ATS3=<n> [&F] [?]	ATコマンドの文字列の最後を確認する復帰 (CR) キャラクタを設定します。	n=13 (初期値) : n=13 のみ指定できます。	ATS3=13 OK
ATS4=<n> [&F] [?]	改行 (LF) キャラクタを設定します。英文字でリザルトコードを表示する場合は、復帰 (CR) キャラクタの次に付けられます。	n=10 (初期値) のみ指定できます。	ATS4=10 OK
ATS5=<n> [&F] [?]	ATコマンド入力中に入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース (BS) キャラクタを設定します。	n=8 (初期値) のみ指定できます。	ATS5=8 OK
ATV<n> [&F]	リザルトコードの表示方法を設定します。	n=0 : 数字で表示します。 n=1 (初期値) : 文字で表示します。	ATV1 OK
ATZ	FOMA端末設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に実行した場合は、回線切断処理を行います。	-	ATZ OK

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名: +CGDCONT

- 概要
パケット発信時の接続先 (APN) の設定を行います。
- 書式
+CGDCONT=[<cid>[," <PDP type>" [, " <APN>"]]]
- パラメータ説明
パケット発信時の接続先 (APN) を設定します。設定例は次のコマンド実行例を参照してください。
<cid>*1: 1~10
<PDP type>*2: PPPまたはIP
<APN>*3: 任意
※1 <cid>はFOMA端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。FOMA端末では1~10が登録できます。お買い上げ時には<cid>=1に「mopera.ne.jp」、<cid>=3に「mopera.net」、<cid>=5に「mopera.flat.foma.ne.jp」が初期値として登録されていますので、cidは2、4、または6~10に設定します。
※2 <PDP type>はパケット通信のプロトコル方式です。
※3 <APN>は接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。
- コマンド実行例
abcというAPN名を登録する場合のコマンド (PDP typeはIP、cidは2の場合)
AT+CGDCONT=2," IP" ," abc"
OK
- パラメータを省略した場合の動作
AT+CGDCONT=: すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、<cid>=1、<cid>=3、および<cid>=5の設定は、お買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT?: 現在の設定を表示します。

■ コマンド名: +CGEQMIN=[パラメータ]

- 概要
パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS (サービス品質) を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
- 書式
+CGEQMIN=<cid>[,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]
- パラメータ説明
<cid>*1: 1~10
<Maximum bitrate UL>*2: なし (初期値)
<Maximum bitrate DL>*2: なし (初期値)
※1 <cid>はFOMA端末内に登録するパケット通信での接続先 (APN) を管理する番号です。
※2 <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>はFOMA端末と基地局間の上り、および、下り最大通信速度[kbps]の設定です。なし (初期値) の場合は、すべての速度は許容しますが、値を設定した場合は、それ未満の速度での接続は許容しないため、パケット通信がつかない場合がありますのでご注意ください。
- コマンド実行例
 - 上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド (cidが2の場合)
AT+CGEQMIN=2
OK
 - 上り 5,760kbps/ 下り 7,232kbps の速度のみ許容する場合のコマンド (cidが2の場合)
AT+CGEQMIN=2,,5760,7232
OK
 - 上り 5,760kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド (cidが2の場合)
AT+CGEQMIN=2,,5760
OK
 - 上りすべての速度/ 下り 7,232kbps の速度のみ許容場合のコマンド (cidが4の場合)
AT+CGEQMIN=4,,,7232
OK

■ コマンド名 : +CGEQREQ=[パラメータ]

- 概要
パケット通信の発信時に、ネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- 書式
+CGEQREQ=[<cid>[,<Maximum bitrate UL>,<Maximum bitrate DL>]]
- パラメータ説明
<cid>*¹: 1~10
<Maximum bitrate UL>*²: なし（初期値）
<Maximum bitrate DL>*²: なし（初期値）
*¹ <cid>はFOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
*² <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上り、および、下り最大通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合は、ネットワークのQoSを要求しません。
- コマンド実行例
上り5,760kbps/下り7,232kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが2の場合）
AT+CGEQREQ=2,2,5760,7232
OK

お知らせ

- 上記のコマンド（+CGDCONT,+CGEQMIN,+CGEQREQ）は&F、Zによるリセットは行われません。

リザルトコード

■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません

故障かな？と思ったら、まずチェック

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。(ソフトウェア更新⇒P124参照)

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ FOMA端末が認識されない

症 状	チェックする箇所
FOMA端末が認識されない	USBポートにFOMA端末をもう一度奥までしっかりと差し込んでください。
	L-05A 通信設定ファイル(ドライバ)がインストールされ、正常に動作しているかを確認してください。 →P31、P37
	FOMA端末をパソコンに接続したまま起動または再起動を行うとFOMA端末が正しく認識されずに通信できない場合があります。この場合はFOMA端末をいったん取り外し、再度接続してください。それでも通信できない場合はFOMA端末を取り外しパソコンの再起動を行った後、再度FOMA端末を接続してください。
	FOMA端末をUSBポートに接続した後、認識されずデータ通信できない場合には、CDドライブとして認識されている「DOCOMO」アイコンをダブルクリックする、または、「L-05A 接続ソフト」か、「ドコモコネクションマネージャ」を起動することで、モデムとして認識されるようになります。
	PIN1ロック解除コードを10回連続して失敗したFOMAカードは使用できません。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

症 状	チェックする箇所
	パソコンに、CD/DVDライティングソフトが常駐している場合には、終了させてください。

■ 通信時のトラブル

症 状	チェックする箇所
通信できない	サービスエリア内で電波が届いていることを確認してください。
	発信者番号通知の設定が利用するプロバイダの指示と異なっていると通信できない場合があります。指示と異なっている場合は修正してください。 →P67、P80
	FOMAカード設定が「PIN1解除」になっているか確認してください。→P63 「PIN1ロック」に設定されている場合、L-05A 接続ソフトを実行して、PIN1コードを入力してください。→P64
	FOMA端末設定と接続先(APN)登録を確認してください。

■ ATコマンドに関するトラブル

症 状	チェックする箇所
ATコマンドを入力したら「ERROR」が表示される	正しいATコマンドを入力しているか確認してください。 FOMA端末以外の機器を選択していないかターミナルソフトのプロパティを確認してください。
ATコマンドを入力しても[OK]が表示されない	L-05A 通信設定ファイル（ドライバ）が正しく機能しているか確認してください。 ATまたはatで始まるコマンドになっているか確認してください。

■ ゼロインストールに失敗した

症 状	チェックする箇所
新規ハードウェアの検出画面が表示された	「セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されず、ドライバの入力を求める画面になった場合は、一旦キャンセルを行い、FOMA端末をUSBポートから抜いてから、再度USBポートに取り付けてください。 ※なお、パソコンの設定の影響などにより、インストールに失敗する場合には、付属のCD-ROMからインストールを行ってください。→P33

■ その他トラブル

症 状	チェックする箇所
急に動作しなくなった	FOMA端末にFOMAカードが正しく挿入されているか確認してください。→P22 周辺機器や他のソフトウェアをインストールしたことなどによりパソコンの環境が変わった可能性があります。お使いの周辺機器、またはソフトウェアの製造販売元、メーカーにご確認ください。
L-05A 通信設定ファイル（ドライバ）を設定した後、FOMA端末をUSBポートに接続しても、ハードウェアを検出しない	次のことをご確認ください。 • お使いのパソコンやOSの状態は最新の状態になっていますか？（必要に応じて、OSやメーカーからの修正プログラムを適用してください。） • FOMA端末が認識されなかったUSBポートに、その他のUSBデバイスを取り付けた場合、正常に認識されますか？ • FOMA端末を別のパソコンに取り付けた場合、正常に動作しますか？ • パソコンを初期状態に戻した場合に、FOMA端末は正常に動作しますか？ ※なお、OSやパソコンについての詳細は、マイクロソフト社やパソコンメーカー各社にお問い合わせください。
急にインターネットの速度が遅くなる	FOMA端末をパソコンと直接取り付けている場合には、付属の「USB延長ケーブル」を使用して、パソコンから離れた状態で、ご使用ください。 W-CDMA/HSDPA/GSM のサービス環境が不安定な地域では速度が遅くなる場合があります。他の場所に移動して再度接続してください。

こんな表示が出たら

エラーメッセージ	説明
圏外	圏外または電波の届かない所にあるため、操作ができません。
サービス地域ではありません。ネットワークを再検索しますか？	設定されたネットワークが圏外または電波の届かない所にあるとネットワークのエラーが発生することがあります。ネットワークの設定を再操作してください。
端末の認証に失敗しました。顧客センターまたは代理店にお問い合わせください。	FOMA端末をパソコンに取り付けた状態でパソコン起動または再起動すると、FOMA端末が正しく認識されず、通信不可能な場合があります。この場合、FOMA端末をいったん取り外し、再接続してください。再接続しても通信できない場合は、FOMA端末を取り外し、パソコンを再起動した後、FOMA端末を再接続してください。もし、同様の問題が持続した場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
データ通信中には設定できません。終了後に設定してください。	データ通信接続中には、設定の操作ができません。データ接続が終わった後、再操作してください。
変更するPIN1コードと確認用のPIN1コードが異なります。	2つの新しいPIN1コードが一致していません。新規PIN1コードと確認用PIN1コードが異なります。正しい新規PIN1コードを入力してください。
FOMAカードが挿入されているか確認してください。	パソコンに取り付ける前、必ずFOMAカードをFOMA端末に挿入した後、使用してください。
FOMA端末が取り外されました。	FOMA端末の使用中にはFOMAカードを抜かないでください。
FOMA端末が取り付けられていません。	FOMA端末がパソコンに正しく取り付けられているか、パソコンが認識しているか確認してください。
PIN1コードを3回間違えたため使用できなくなりました。(PIN1 blocked) PIN1コードがロックされています。	PIN1コードを連続して3回失敗したため、使用できる機能が制限されました。PINロック解除コードを入力して解除してください。
PIN1コードが違います。残り(○/3)再入力可能です。再入力してください。	入力したPIN1コードが異なります。正しいPIN1コードを再入力してください。
PIN1コードが違います。(PIN1コードは0123456789のみ使用できます。)	有効のPIN1コードは0、1、2、3、4、5、6、7、8、9です。これ以外のコードは適用されません。
PIN1コードは4~8文字です。	PIN1コードの有効桁は4~8桁です。

エラーメッセージ	説明
PIN1コードの変更はPINロックが設定されているときに可能です。	PIN1コードの変更のためには、PINロック設定が必要です。PIN解除状態からPINロック状態に変更してください。
PIN1ロック解除コードが違います。残り（○/10）回入力可能です。再入力してください。	入力したPIN1ロック解除コードが間違っています。正しいPIN1ロック解除コードを再入力してください。
SMS送信に失敗しました。	圏外または電波の届かない所にあるため、操作失敗になる場合があります。ネットワークでエラーが発生して操作が失敗する場合があります。
PIN1ロック解除コードがブロックされているためFOMAカードを使用できません。顧客センターにお問い合わせください。	PINロック解除コードを10回連続して失敗したFOMAカードは使用できません。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
FOMA端末の初期化に失敗しました。FOMA端末をリセットしてください。	FOMA端末をパソコンに取り付けたまま起動、または再起動すると、FOMA端末が正しく認識されず、通信できないことがあります。この場合、FOMA端末をいったん取り外し、再接続してください。それでも通信できない場合は、FOMA端末を取り外した後、パソコンを再起動した上、FOMA端末を再接続してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

- 修理を依頼される前にこの取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

- ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店には必ず保証書をご持参ください。
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモ指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後のコネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合、修理できないことがあります。

- 故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
 - お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（コネクタなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
- ※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災、けが、故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご承知いただいたうえでお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す。
 - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換する。
など
 - 改造が原因による故障、損傷の場合は保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには技術基準を満たす説明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトからFOMA 端末の修正ファイルをダウンロードし、ソフトウェア更新を行います。ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページの「お知らせ」でご案内させていただきます。

お知らせ

- ソフトウェア更新中は接続しているパソコンからFOMA端末を取り外さないでください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

主な仕様

■ 対応OS

Windows 2000 Professional日本語版 (Service Pack 4以降)
Windows XP Home Edition日本語版 (Service Pack 2以降)
Windows XP Professional日本語版 (Service Pack 2以降)
Windows Vista 32 bit日本語版 (Service Pack 1以降)
Windows Vista 64 bit日本語版 (Service Pack 1以降)
Mac OS X 10.4.11 日本語版
Mac OS X 10.5.6 日本語版

■ 通信速度

パケット通信：

受信最大7.2Mbps (ベストエフォート方式)

送信最大5.7Mbps (ベストエフォート方式)

- ※ 通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。
- ※ 送信時最大5.7Mbpsの対応エリアの詳細についてはドコモのホームページをご確認ください。
- ※ FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。
- ※ FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

■ 環境条件

動作時温度：5℃～35℃

動作時湿度：45%～85%

■ 電源

電源電圧

DC5V±5% (パソコンより給電)

消費電流

通信時最大消費電流

3G：約550mA 以下

GSM/GPRS：約300mA 以下

通信時平均消費電流

3G：約260mA 以下

GSM/GPRS：約260mA 以下

待ち受け時平均消費電流

3G：約90mA 以下

GSM/GPRS：約90mA 以下

※ 使用状況により、消費電流は変動します。

■ 形状

USB接続タイプ

■ サイズ

高さ：約80mm

幅：約32mm

厚さ：約13.0mm

■ 質量

約37g

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

European Union Directives Conformance Statement



Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives



The above gives an example of a typical Product Approval Number.

FCC Regulations

Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Change or Modifications that are not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Class B Compliance

This device and its accessories comply with part 15 of FCC rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device & its accessories may not cause harmful interference.
- This device & its accessories must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Body-worn Operation

This device has been tested for typical body-worn operations with the distance of 0.19 inches (0.5cm) from the user's body.

To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.19 inches (0.5cm) must be maintained from the user's body.

Consumer Information on SAR (Specific Absorption Rate)

THIS DEVICE MEETS THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radiofrequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

- ※ Tests for SAR are conducted using standard operating positions specified by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output.

Before a device is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this device when worn on the body is 1.3W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this device is on file with the FCC and can be found under the Display Gant section of <http://www.fcc.gov/> after searching on FCC ID BEJL05A. Additional information about Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications Industry Association (CTIA) web-site at <http://www.wow-com.com>.

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用してインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などをすることはできません。

商標について

- 「FOMA」「iモード」「iアプリ」「mopera U」「mopera」「WORLD WING」「パケ・ホーダイ」「Biz・ホーダイ」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system、Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system、Microsoft® Windows Vista® Business operating system、Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system、Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating systemの略です。
- Windows XPIは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- Windows Vista、XP、2000のように併記する場合があります。
- Apple、Appleロゴ、Mac、Mac OS、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

索引

ア

アンインストール	
L-05A 接続ソフト (ドライバ含む)	
(Macintoshの場合)	41
L-05A 接続ソフト (ドライバ含む)	
(Windowsの場合)	36
インストール	
ドコモ コネクションマネージャ	
(Macintoshの場合)	75
ドコモ コネクションマネージャ	
(Windowsの場合)	71
L-05A 接続ソフト (ドライバ含む)	
(Macintoshの場合)	37
L-05A 接続ソフト (ドライバ含む)	
(Windowsの場合)	31
インターネットオプション	61
エラーメッセージ	121

カ

海外利用	
海外通信事業者を検索	105
海外で利用する前の確認	103
海外で利用できる通信サービス	102
海外利用時のネットワーク設定	106
各部の名称と機能	16
環境条件	125
形状	125
国際ローミング	102

国際ローミング中の	
ネットワークサービス	103
故障かな?と思ったら、	
まずチェック	119
こんな表示が出たら	121

サ

自局番号	46
仕様	125
セキュリティ設定	63
接続先(APN)の設定	
L-05A 接続ソフト環境設定	60
セットアップ	28

タ

対応OS	125
ダイヤルアップ接続	98
ダイヤルアップネットワークの設定	82
通信速度	125
通信の設定	
パケット通信	21
電源	125
電話帳	57
グループ登録および削除	59
電話帳の検索	58
電話帳の削除	59
電話帳の修正	58
電話帳の登録	58

動作環境	30
ドコモ コネクションマネージャ	70

ナ

ネットワーク設定	106
----------	-----

ハ

パケット通信	47
パケット使用量確認	61
パケット通信に接続	47
パケット通信を終了	47
パソコンから取り外す	25
発信者番号通知の設定方法	67
本体付属品	14

マ

メイン画面	45
メイン画面の動作設定	45

ラ

ランプ表示	17
-------	----

ATコマンド	110
ATコマンド一覧	111
FOMAカード	
取り付け/取り外し	17
PIN解除	63
PINロック	63
PINロック解除コード設定	65
PIN1コード変更	64
FOMA端末から利用できるサービス	21
FOMA端末の取り付け/取り外し	22
L-05A 接続ソフト（ドライバ含む）	
インターネットオプション	61
起動/終了(Macintoshの場合)	44
起動/終了(Windowsの場合)	44
基本設定	61
セキュリティ設定	63
電話帳	57
ネットワークサービス設定	106
パケット使用量確認	61
FOMAカード設定	62
FOMA端末のリセット	68
SMS	48
FOMAカードトレイ	54
SMS削除	51, 53, 54, 55
SMS下書きトレイ	53
SMS受信トレイ	50
SMS送信済みトレイ	51
WORLD WING	102

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

パソコンから My docomo (<http://www.mydocomo.com/>) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。

※ 「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先にご相談ください。

※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

◎こんな場合は必ずFOMA端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

■ 使用禁止の場所にいる場合

FOMA端末を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

・ 航空機内 ・ 病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、FOMA端末を接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全走行の妨げとなり危険です。

■ 満員電車中など、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合


植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

総合お問い合わせ先 (ドコモ インフォメーションセンター)

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※携帯電話、PHSからもご利用になります。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ <http://www.nttdocomo.co.jp/>

海外での紛失、盗難、精算などについて (ドコモ インフォメーションセンター) (24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号(表1) **-81-3-5366-3114*** (無料)

*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合

(ユニバーサルナンバー)

ユニバーサルナンバー用
国際電話識別番号(表2) **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1) / ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P104、P105をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。




マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※携帯電話、PHSからもご利用になります。

海外での故障に関して

(ネットワークテクニカルオペレーションセンター) (24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号(表1) **-81-3-6718-1414*** (無料)

*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合

(ユニバーサルナンバー)

ユニバーサルナンバー用
国際電話識別番号(表2) **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1) / ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P104、P105をご覧ください。

販売元
製造元

株式会社NTTドコモ
LG Electronics Inc.



大豆インクを使用しています。

再生紙を使用しています

’09.05 (1版)
MMBB0342702